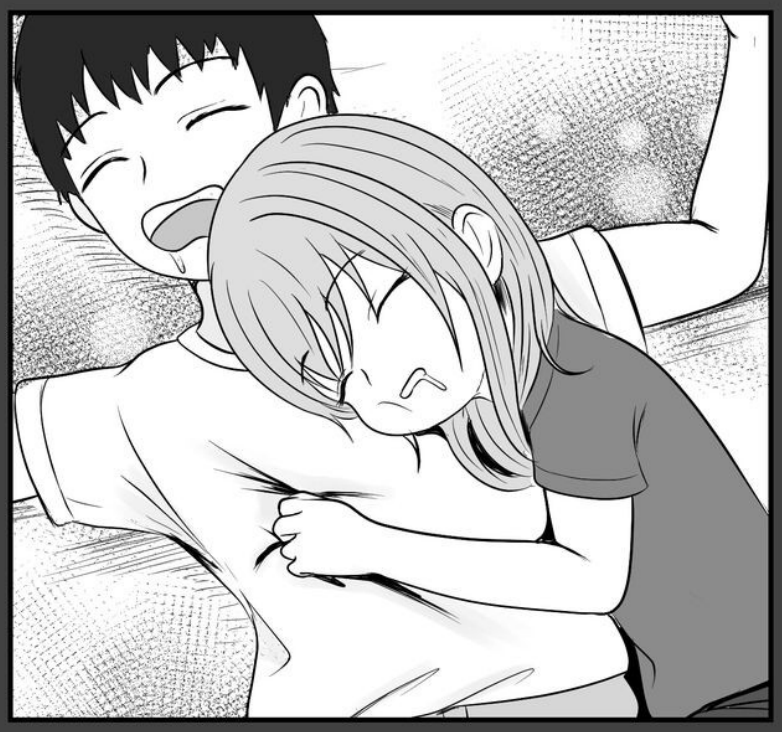
義妹が睡眠薬飲ませようとしてくるんですけど…2





前作のあらすじ

両親の再婚で義理の兄妹となった
二人は、大の仲良しになり、
いつも一緒だった。

しかし思春期に入った頃から、
アンナは義兄に対して素っ気ない態度を
取り始めた。

いつも「お兄ちゃんお兄ちゃん」と
くっついてきた義妹の態度の変化に
困惑しつつもどうすることも出来ない兄。





ほとんどまともな会話も出来なくなって
5年もたった頃。

兄は、ひょんなことからアンナの部屋で
睡眠薬を発見してしまう。

テンパった兄は、中身をガムシロップに
入れ替えて様子を見ることに・・・



アンナが唐突に挿れてくれた
めちゃくちゃな甘さの
ブラックコーヒー。

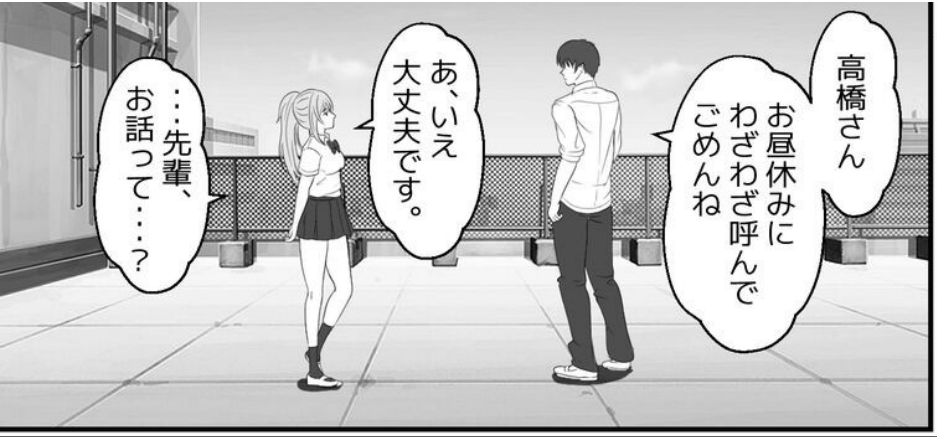
義妹の意図を探るために、
寝たフリをした兄にエッチなことを
始めるアンナ。



たとえ叶わぬ恋でも、
「せめて初めては好きな相手と」
という義妹の想いを、盛大に勘違いする兄。



お互いの気持ちを知らないまま、
初めてのセックスをしてから
一ヶ月が経った。


高橋さん
お昼休みに
わざわざ呼んで
ごめんね
あ、いえ
大丈夫です。
…先輩、
お話って…？

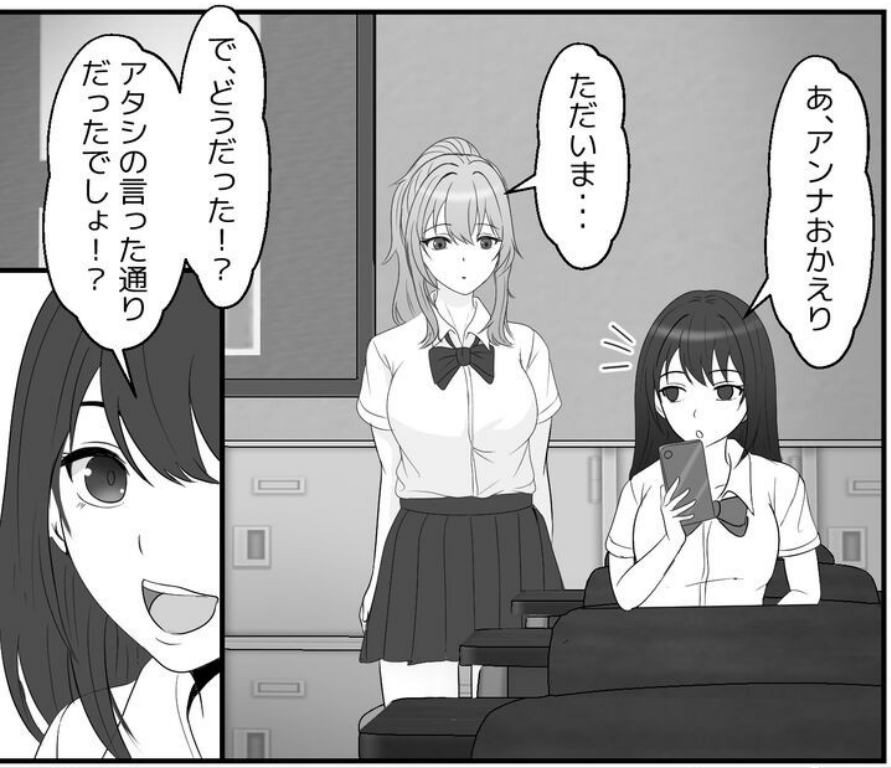


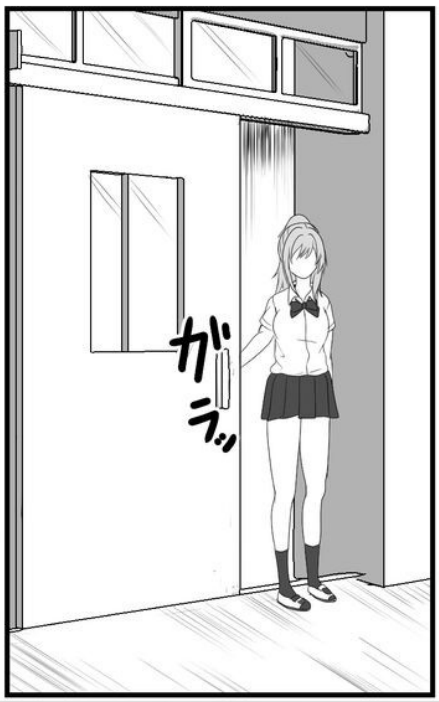

あの…
俺、アンナさんが
入学してひと目見た時から、
ずっと好きだった。

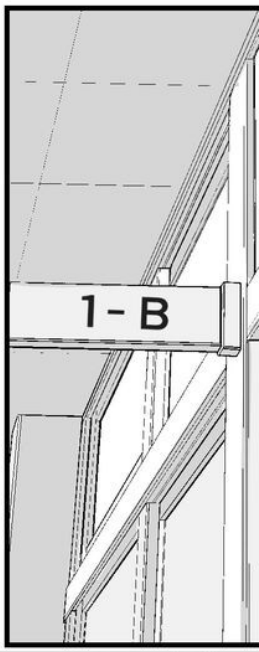

ご、ごめんなさい。
気持ちは
ありがたいんですが…


あ…マジですか…。
ごめんなさい。
でもどうしても
好きな人がいるんです…

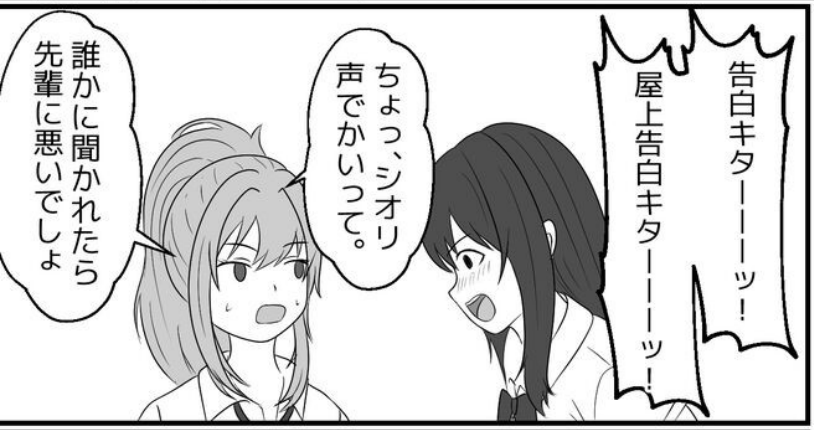

もし良かったら、
俺と付き合ってもらえませんか？
わっ…


あ、アンナおかえり
ただいま・・・
で、どうだった!?
アタシの言った通り
だったでしょ!?


ガラッ


1-B

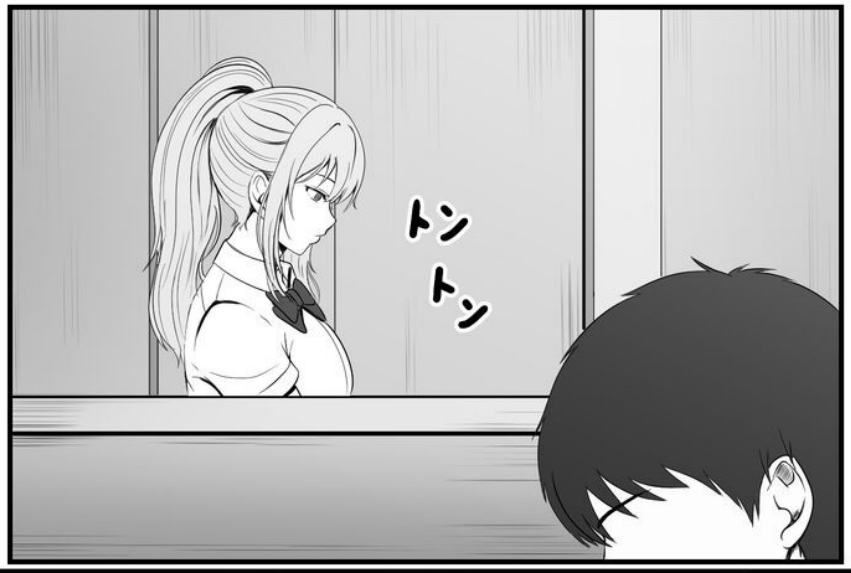

うん・・・告白された。
びっくりした。

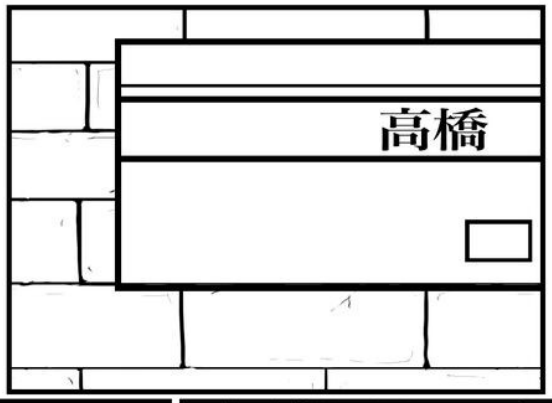

告白キターーーッ!
屋上告白キターーーッ!
ちょっ、シオリ
声でかいって。
誰かに聞かれたら
先輩に悪いでしょ

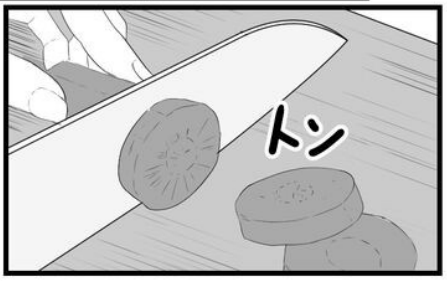

で?でっ?
もちろんOKっしょ?
ん・・・断ったけど
は!?
なんで!?
バスケ部エースの
イケメン新道先輩を!?
性格も良いって
噂知ってるでしょ?


美男美女で
超お似合いじゃん!
ん・・・だって
他に好きな人いるし・・・


出た！アンナの謎の好きな人！
それ中学から言ってるけど、未だに誰か教えてくれないじゃん！ホントに存在するわけ！？
ホントにいるもん
ホント？でももう4年以上片想いなんでしょ？
片想いというか、絶対叶わない相手というか…
それ…もう無理でしょ
無理じゃ…まぁ無理だけど…
うう…先生、シオリさんがイジメます。
あら…ごめん…
でもずっと脈なしの相手を想い続けて、幸せになるチャンスを捨てるのはもったいないよ？
例え叶わないとしてもちゃんと告白して終わりにするのも、次に行くには大事だと思うぞ？
終わらせる…か。
分かっちょる…。
分かっちょるがぜよ…。武市さん
…龍馬？


トン
トン


高橋


トン


ちらっ


カッコいい～
今日もカッコいいなオイ…
何アレ超カッコいい


チラッ
アンナと初めてエッチをしてから一ヶ月
なんか今までよりも大人っぽいというか、
グッと色っぽくなった気がする
やっぱり初体験を済ませると
女は大きく変わるもんなんだろうか…
…それにしてもなんで野菜切りながら
顔を赤らめてるんだろう…？
子供の頃から天然っぽかったけど、
中学に入ってからのアンナは本当に謎の挙動が多い…

あれ以来、アンナが俺にコーヒーを淹れてくれることはまだない。

仕込みもう終わっちゃった…後はお母さんにお任せ。

リビングの近くにいる理由無くなっちゃった

ビクッ

あ、なぁ…アンナ

…何よ

俺を練習台にして処女を捨て、もう練習する必要がないと思っているのだろうか。

彼氏はいないと言っていたが本当だろうか？

もしかしたらこの一ヶ月で、もう彼氏とそういう事を沢山しているのかもしれない…

それを思うと胸が苦しくなる。大事な妹だからだろうか。

あ、いや。

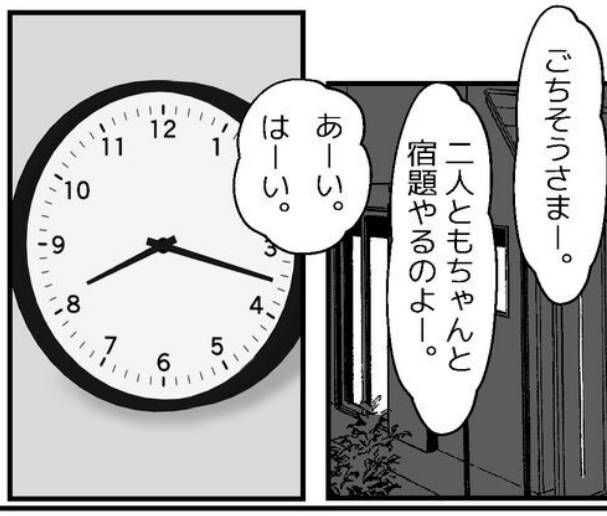
最近、コーヒー淹れてくれないなって…

…

自分で淹れれば？

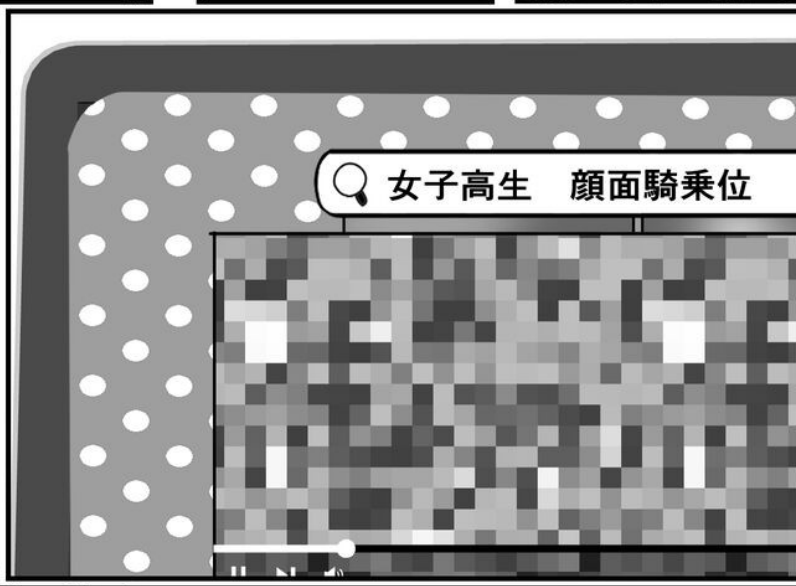
あれは間違って多めに淹れちゃっただけだから。













ここ一ヶ月、アンナのことで頭が一杯だ。
アンナで抜いて…
賢者モードでもアンナのこと考えて…

というか思い返せば、俺は昔から
アンナのことを考えてばかりかもしれない。

特に、あいつが
素っ気なくなり始めた
中学くらいから。





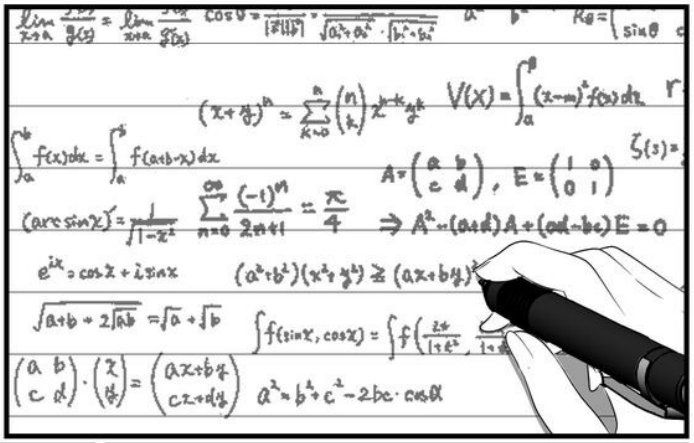


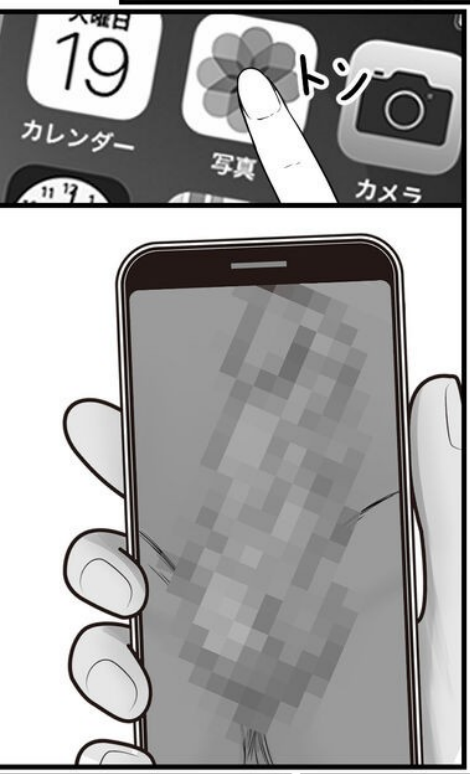
コレは・・・






ふぅ…終わり、と。




19
カレンダー
写真
カメラ
トン

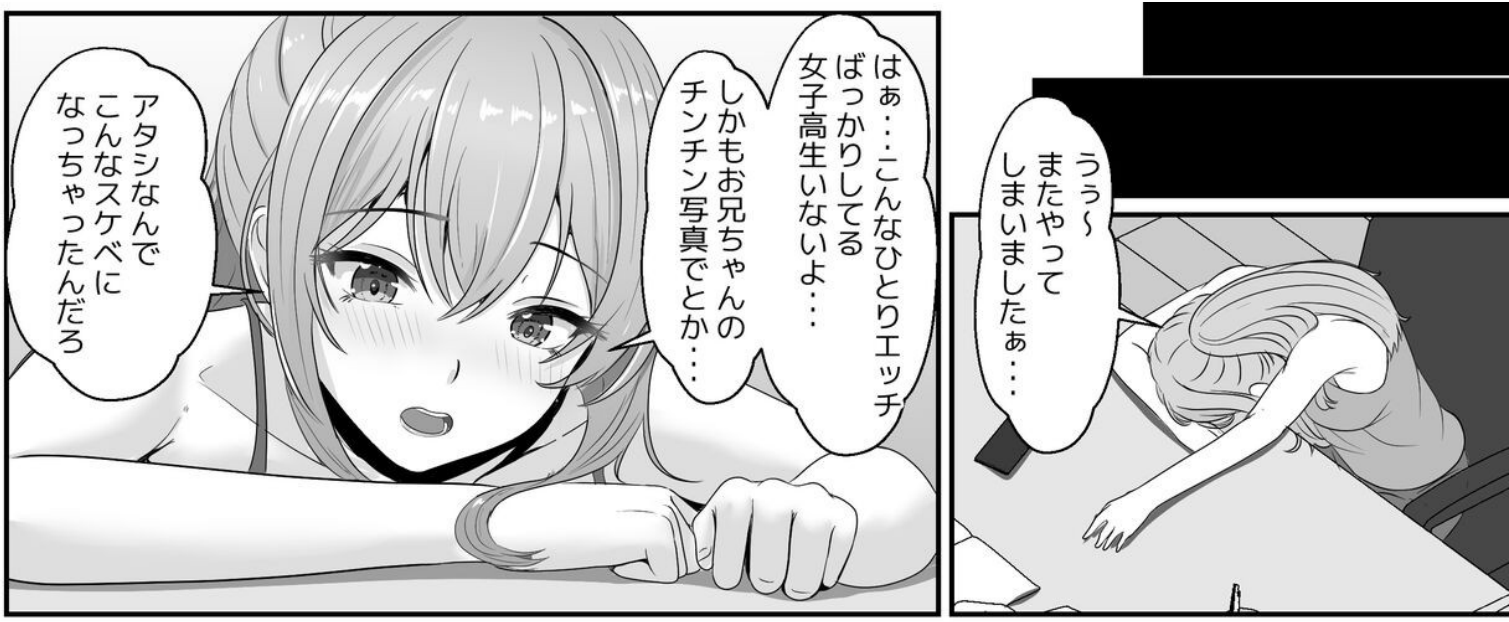

…。
サッ


ん～！
数学は疲れるぅ
無理して入った
高校だから難しすぎるよ…


ふぅ
んっ
くぅ
んうっ


すっ…


……





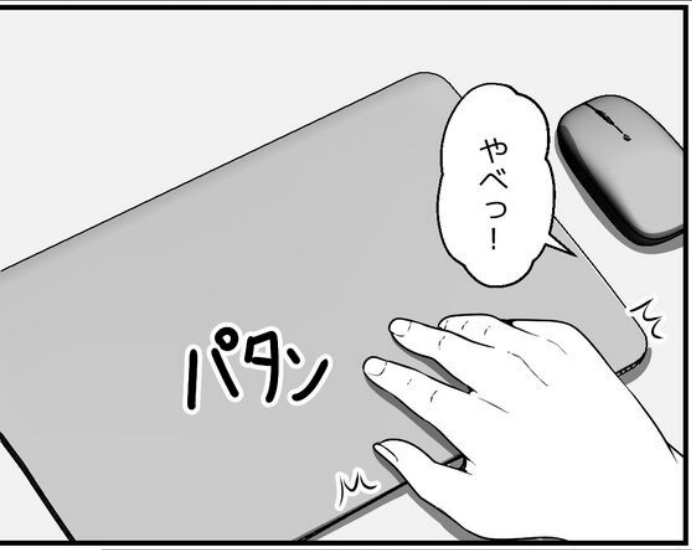
ひとりエッチなんか比べ物にならないし。
もっかいしたいなぁ…

罪悪感ヤバいし、
怠くなっちゃうみたいだから、
あれからずっと我慢してたけど




そ、そうだったのか…！
なら俺は…
いやでも…
どうすれば…




やべっ！
パタン


コンコン
ビクッ


開けて…
アタシ
お、おお、
今開ける


アンナ…
ど、どうした？
きゃ
ガチャ



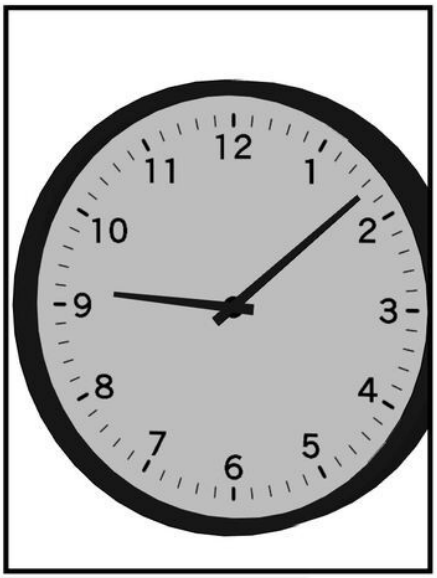
コレは絶対アレだろ！
甘すぎるもんな！
糖尿病レベルだもんな！
ココア作ってシロップまで
追加してるんだもんな！

よし、早速ベッドに…

例え練習台だとしても、
アンナに気持ちいいことしてもらえるって
こんなにテンション上がるんだな！







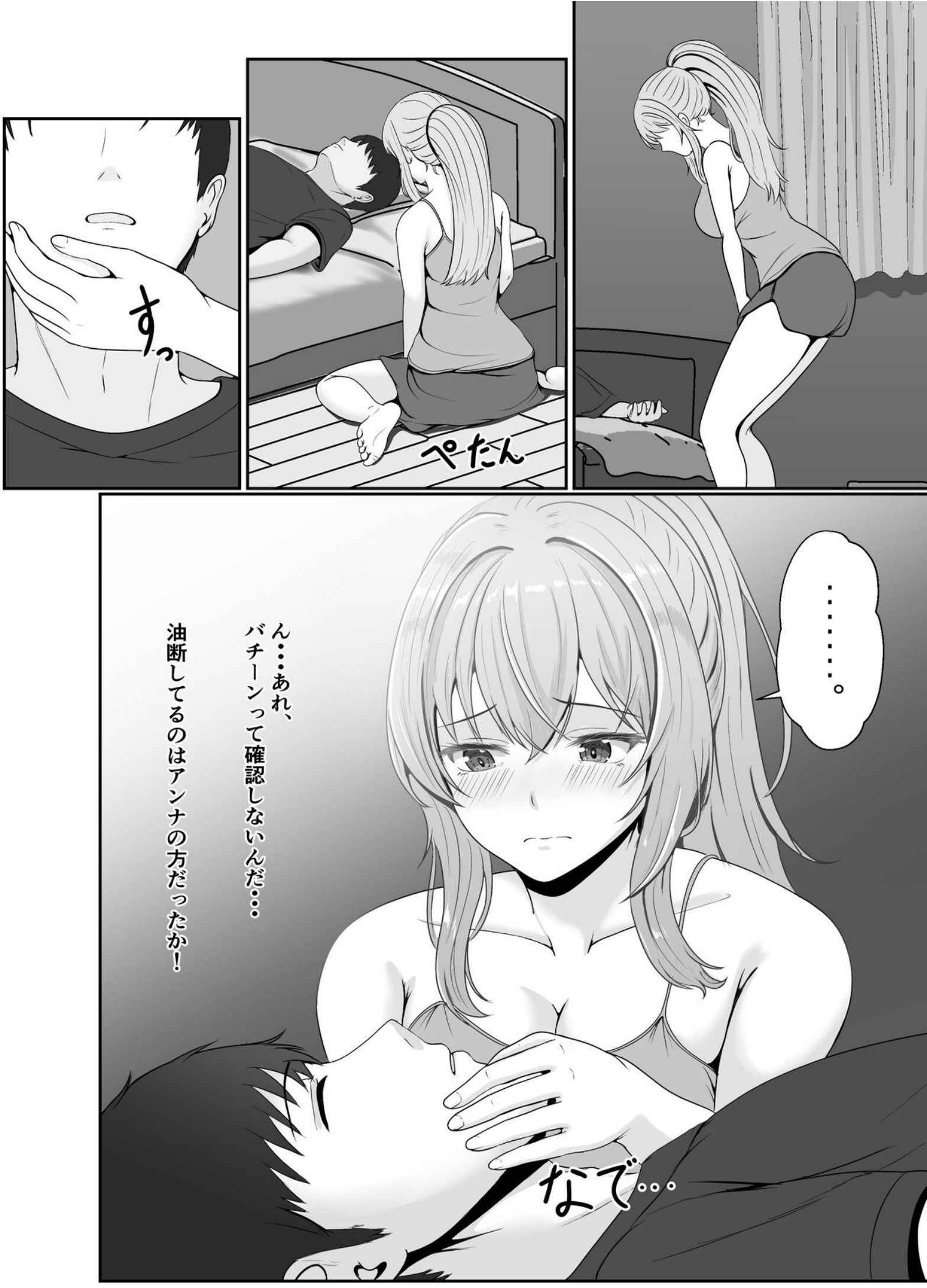




っと油断しちゃいかん。

また急に
手バチーンって
されるからな…

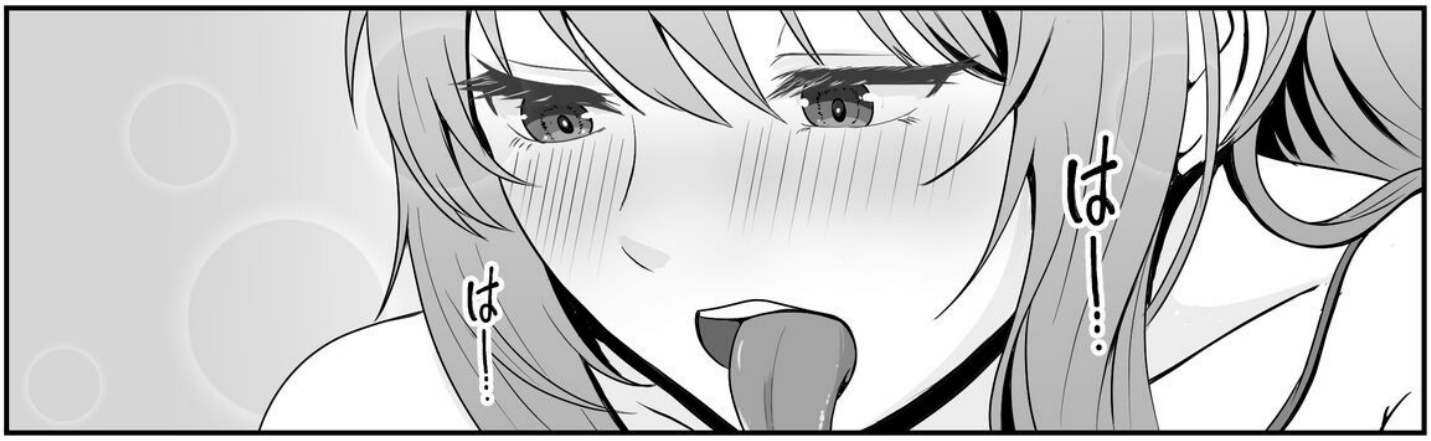
寝たフリがバレるのだけは
避けないと


すっ
ぺたん
……。
ん…あれ、
バチーンって確認しないんだ…
油断してるのはアンナの方だったか！
なで…

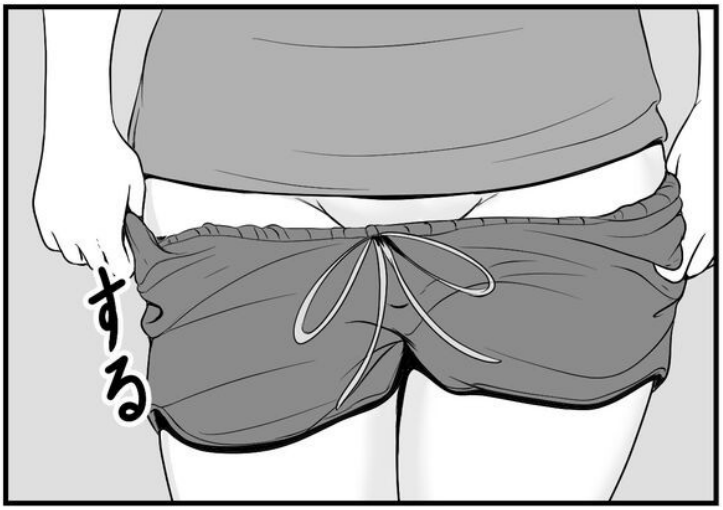

うわぁ…
吐息が…
やっぱり
良い匂い…


ちゅうう


あぁキス…
ヤバい
この脳が痺れる
ような感覚…
めっちゃ唾液
絡ませてくるし…
ちゅ
れろ
れろ
じゅるッ
ちゅ

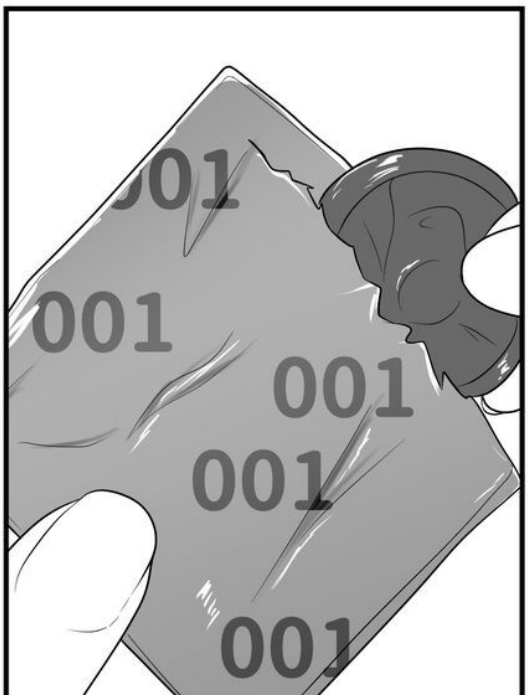

はー…
はー…


ポイッ


する

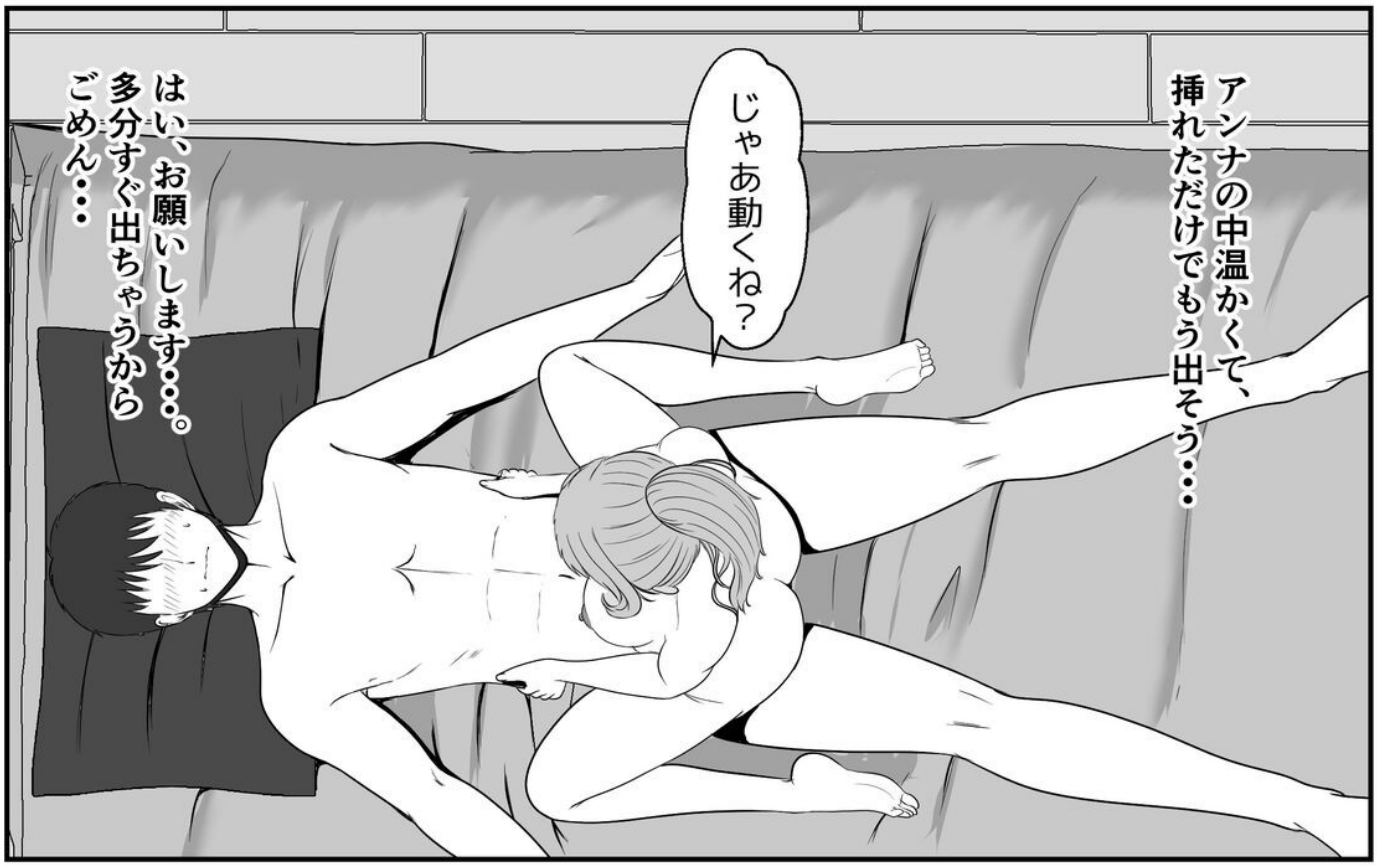

あ、キスだけでもう挿れるのか
残念・・今日はフェラの練習無しか・・・
はぁ
はぁ
ぬちゅ



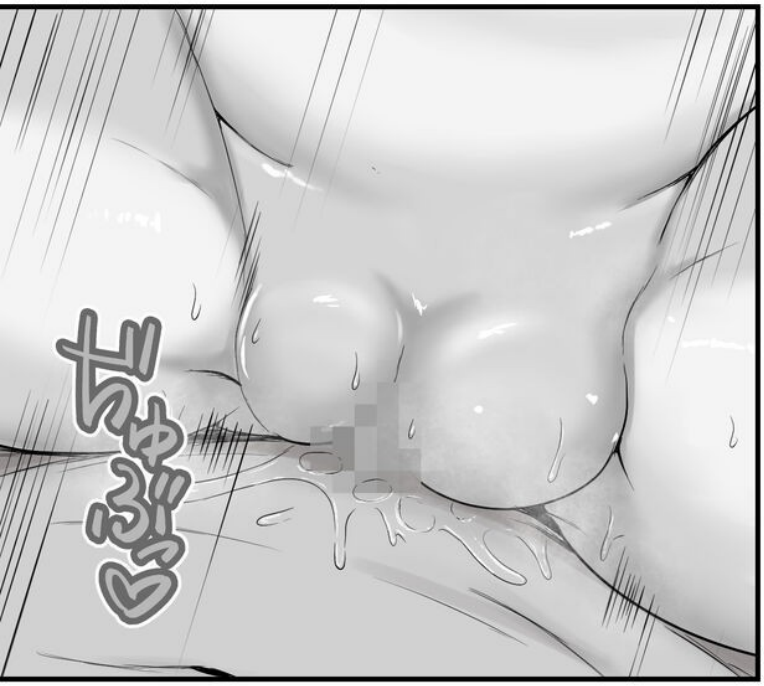

001
001
001
001
001

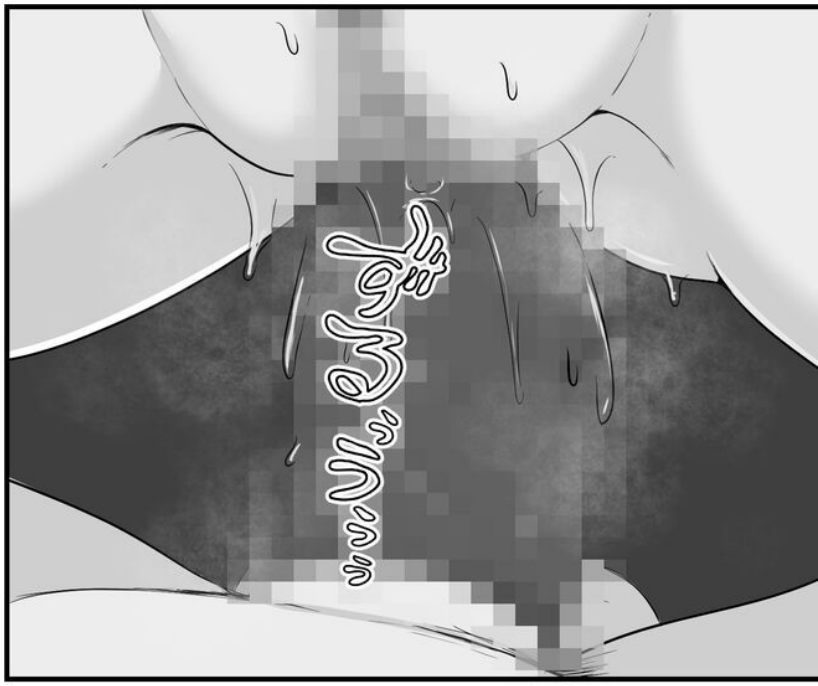

ぬぎ。
はぁ
はぁ
いや…ホントそれ…
ってかアンナもオナニーしてるんだ…
すぐ隣の部屋で…っ

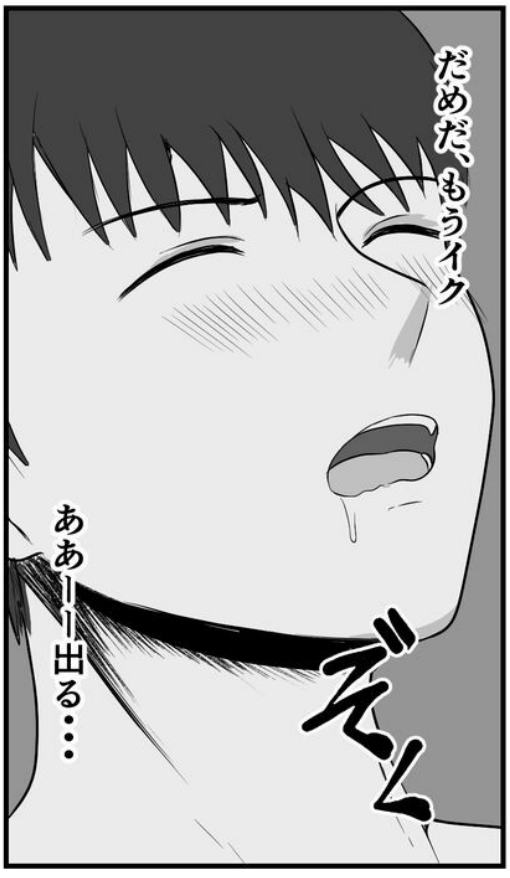

ああ…
やっぱりひとりエッチより
全然気持ち良い…
ぴく
ぴく
ぬぷ…

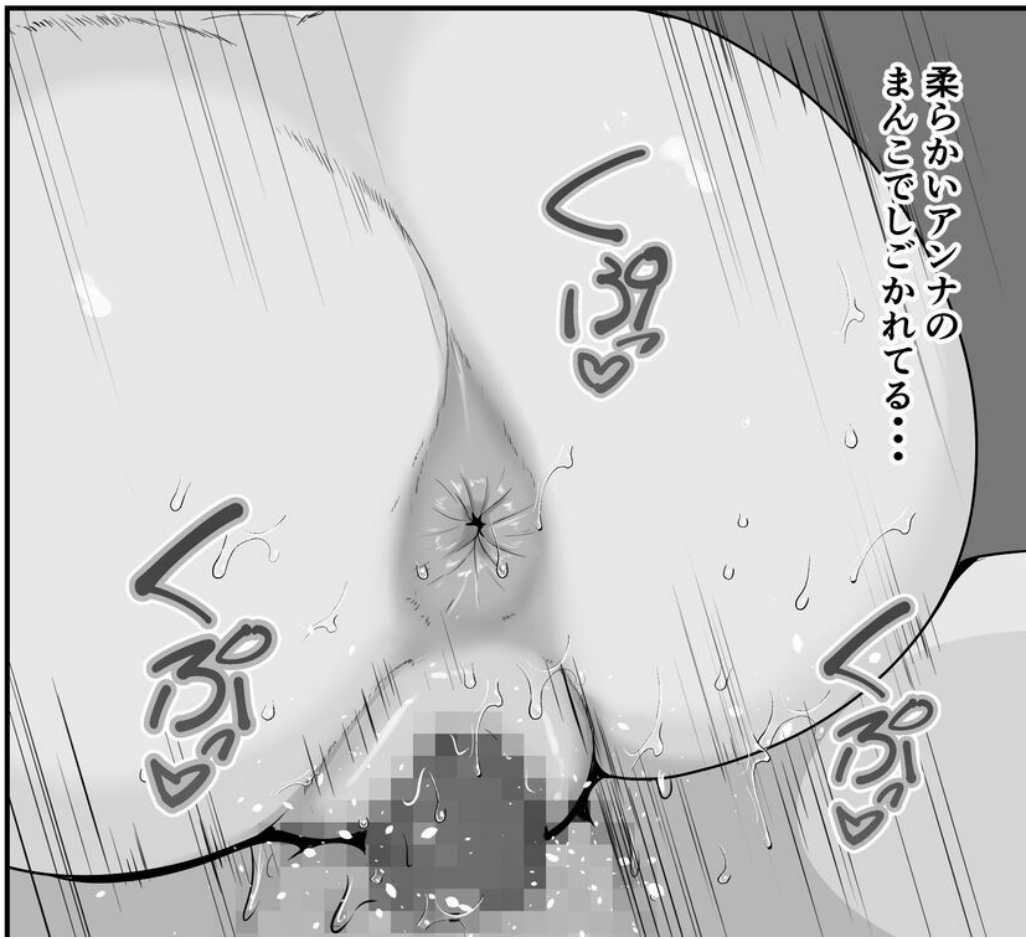

アンナの中温かくて、
挿れただけでもう出そう…
じゃあ動くね？
はい、お願いします…。
多分すぐ出ちゃうから
ごめん…


はぁ
はぁ
はぁ
たんっ♡
たんっ♡
たんっ♡


ぢゅぶっ♡


ずるるるっ


だめだ、もうイク
ああー出る・・・
ズン

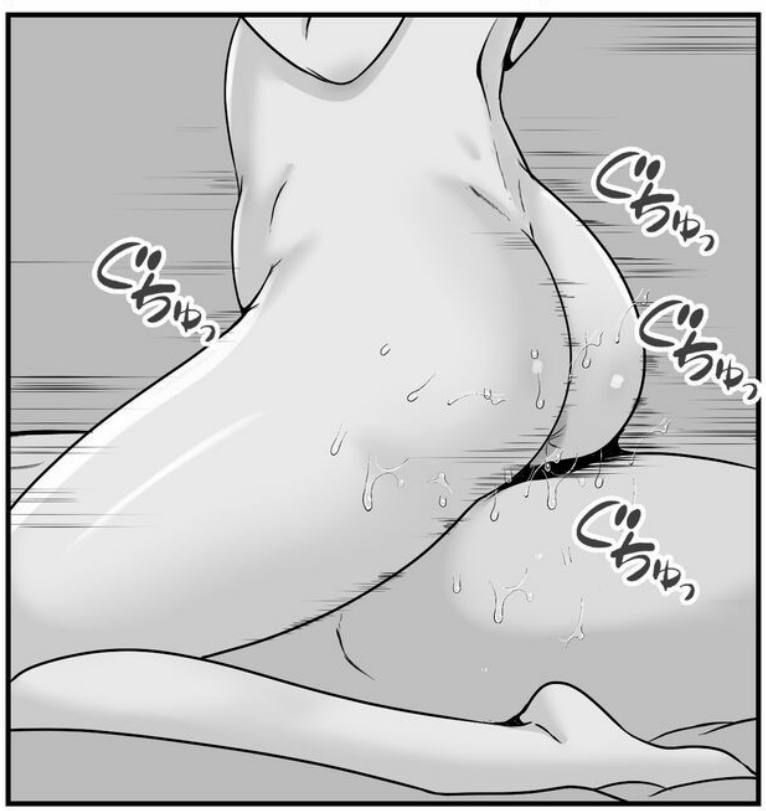

柔らかいアシナの
まんこでしごかれてる・・・
くぷっ♡
くぷっ♡
くぷっ♡


ピタッ

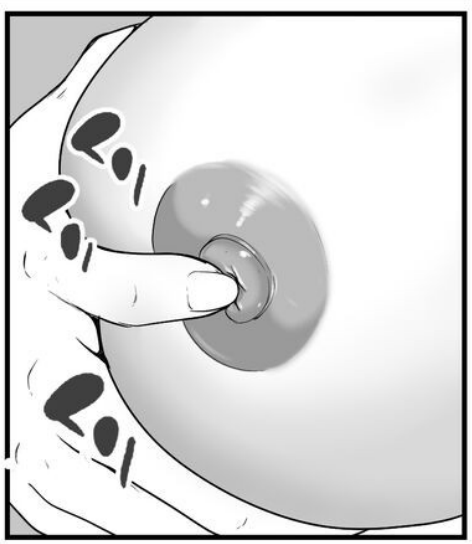

…あ…れ？
ぴくっ
ぴくっ
くそ…ギリギリで…


へへ、お兄ちゃんがイクのすぐ分かるようになった
はぁ
はぁ
中ですごい固く膨らむの♡

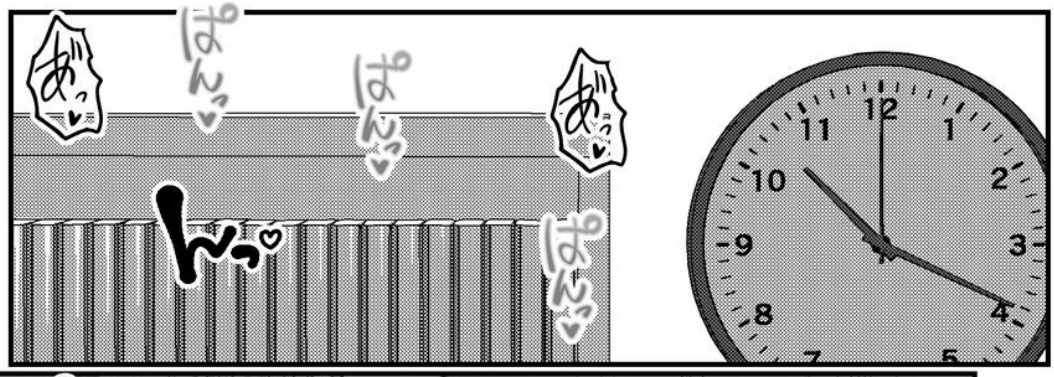

また沢山イッたら身体怠くなっちゃうからね。
お兄ちゃんはイカないようにして沢山しようね？
は…
は…
え…？ちょっと、その気遣い要らないやつ！
むに
むにゃ

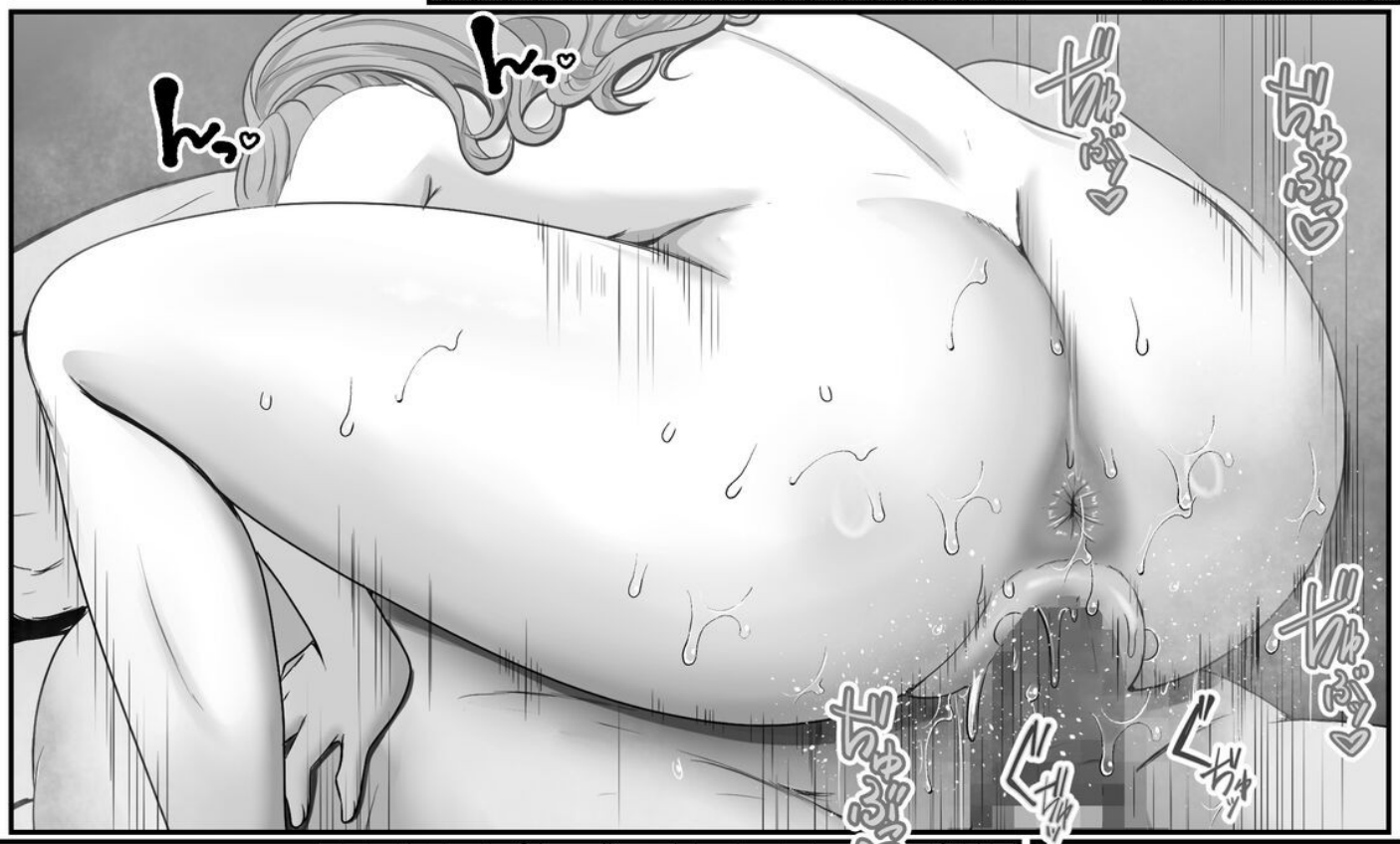

ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ


うぅ…
きもぢぃ…
イク…っ
ガク
ガク


くりくり
くりくり


あうっ！
びくんっ♥
ぎゅみ♥
びくんっ♥
くっ！
びくんっ
うあぁっ!!
びくんっ
ぎゅっ
ぎゅっ
あっ♥
あっ♥
あっ♥
ぬちゅ
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぬちゅ
ぐちゅっ
ぬちゅ
くぉぉ、イッて熱くなった子宮口で鬼頭擦られてる
気持ち良すぎるっ
イクっ！
ぴたっ
ぐぉっ…
ギリッ
ちょっと、マジかよ！


あっ
ぱんっ
ぱんっ
あっ
んっ
ぱんっ


んっ
んっ
ぢゅぶっ
ぢゅぶっ
ぢゅぶっ
ぢゅぶっ


これ…
もう何時間寸止めされて…
イキたい…もう出したいっ…
はッ
はッ
はッ


お兄ちゃん、寝てるのに、
すごくエッチで
気持ちよさそうな
顔になってる…
ハーッ
ハーッ
気持ち良すぎて辛いって！
アンナ！イカせて！


カワイイ…
ちゅうう

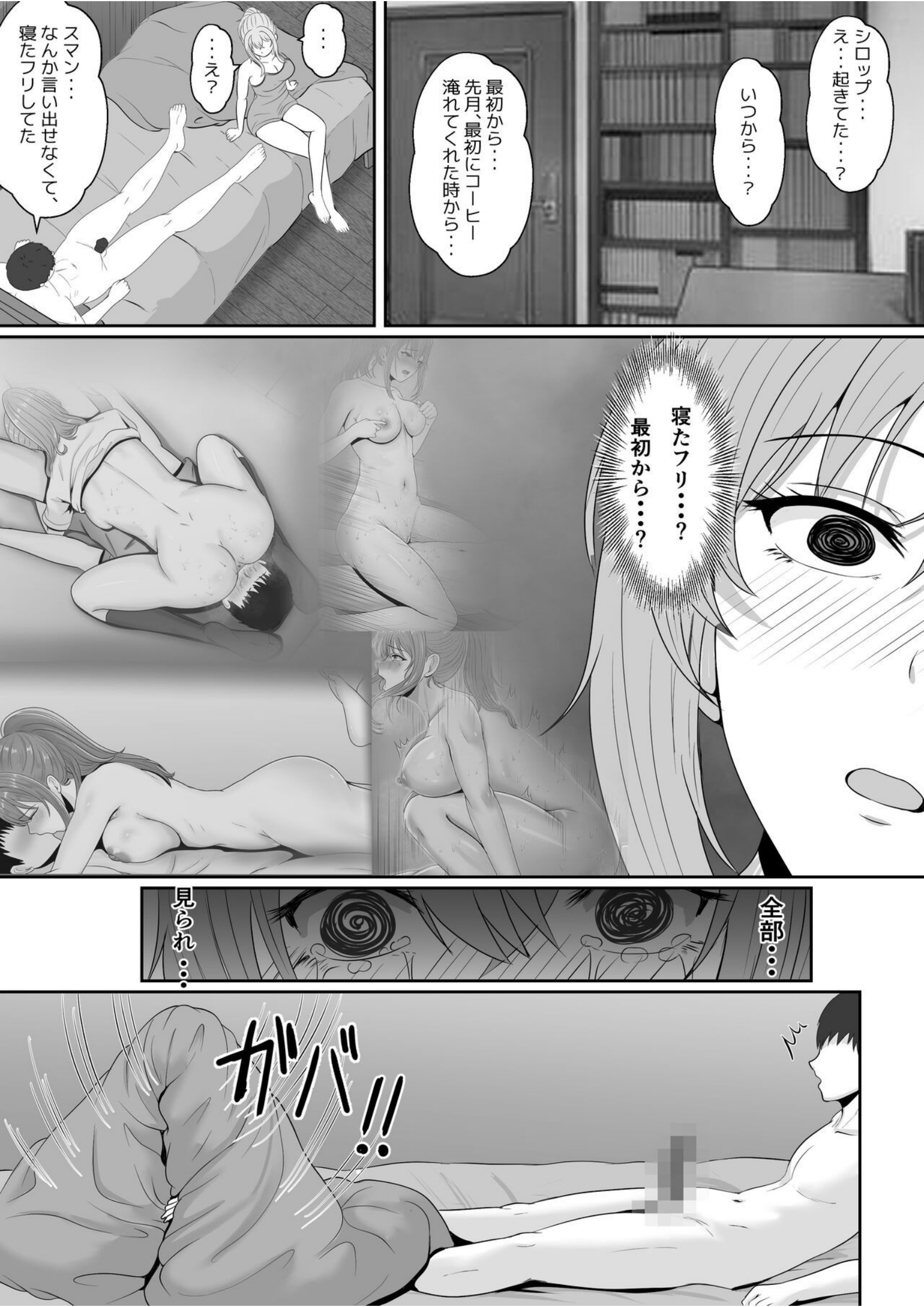

あっ
あっ
あっ
ちゅぱっ
ちゅぱっ
はー…
はー…
そくそく♡
あ、イク…
またイッちゃう…
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ぱんっ♡
ガク
ガク
ガク
お、俺も、俺もイクよ…
ビクッ
ビクッ
ビクッ
んっ♡
ひくひく
キュン
キュン
頼む…
あと一擦りで…
はぁ…♡
危なかったね。
ちょっと一分休憩しようね
!!!


もう限界だぁぁぁあああ！！！
イカせてくれぇえええええ！！！
ガバァ
あ…
しまったぁぁぁ…


いや…あの…
…えっ？
バチンッ
バチッ
いや…
起きてる。
起きてるんだ…
びくんっ♥
ずるっ

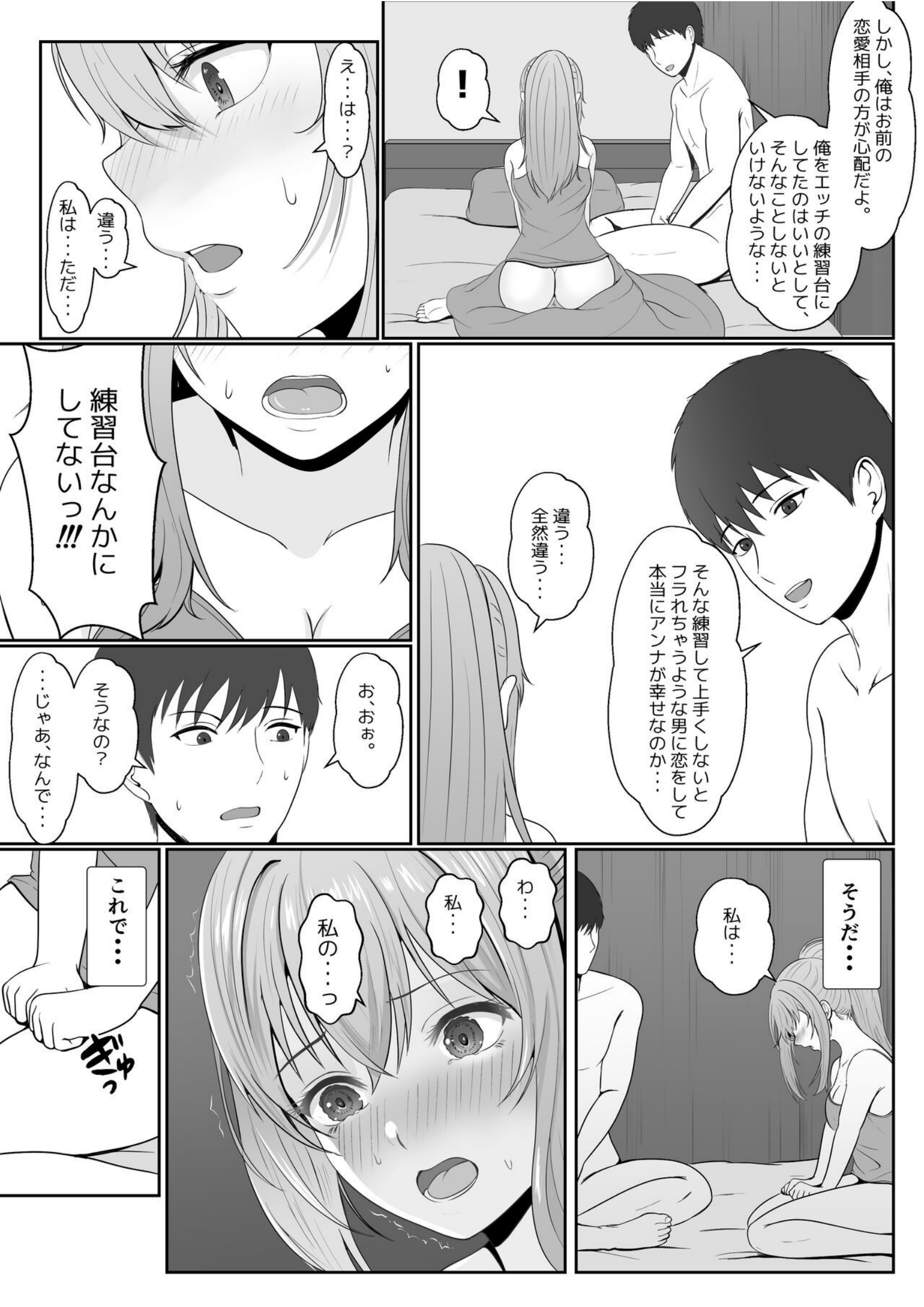

キョロ
キョロ
びくっ♥
…。
もぞ…
びくっ♥
びくっ♥
ドター!!
お、おい、大丈夫…
ガクガク
スッ
びくっ♥
ぐいっ
ぐいっ
パサッ


やっと起きた…
ぷに
ぷに
コップ取りに来たら、
いきなり寝ぼけて叫んで何なの？
ど、どうせスケベな
夢でも見たんでしょ最低
いや…あの…
すまん…寝たフリしてた…
最初から起きてた…
は？
…は？
なん…
え…は？
だって…薬…
あの、睡眠薬
みたいなやつな…
実はアレ先月見つけちゃって…
シロップに入れ替えたんだ…


シロップ…
え…起きてた…？
いつから…？
最初から…
先月、最初にコーヒー
淹れてくれた時から…
…
…え？
スマン…
なんか言い出せなくて、
寝たフリしてた
寝たフリ…？
最初から…？
全部…
見られ…
ガバ!!


死んだ…
死んだ～
いや、アンナ…
なんかスマン…
裸…見たの…？
私の…
ぐっ…
少しだけ見たかな
…。
キスしたのも？
うん、知ってる
そっちのこと何て
呼んでたかも…？
あぁ…
お兄ちゃんって
呼んでたな…
ぎゅっ
アタシが
感じてるの
見たの…？
まぁ…アレだけ
イッて声出せば
聞こえるというか…
ギュッ
おお…
ドンドン小さくなっていく…


なんか昔のアンナみたいだな…
アンナ、顔出して。
…やだ
出しなさい。真面目な話だ。
…。
いいか。まずお前のやろうとしていたことは、犯罪だ。
まあ未遂だし、家族だからまだいいが…
いや家族でもダメかそれは分かるだろ？
ごめんなさい…もうしない…
うん。まぁ寝たフリしてた俺が言うのもなんだけどな。


しかし、俺はお前の恋愛相手の方が心配だよ。
俺をエッチの練習台にしてたのはいいとして、そんなことしないといけないような…
！
え…は…？
違う…
私は…ただ…
練習台なんかにしてないっ!!!
そんな練習して上手くしないとフラれちゃうような男に恋をして本当にアンナが幸せなのか…
違う…全然違う…
お、おぉ。
そうなの？
…じゃあ、なんで…
そうだ…
私は…
わ…
私…
私の…っ
これで…
ぎゅっ


終わりにしよう・・・
私の好きな人はお兄ちゃんなの。
大好きです。お兄ちゃん。
昔から。ずっと大好き




ダメ。
まだ泣いちゃダメ
じわ…


それだけだから
え…？
あ…
ばっ


困ること言ってごめん。忘れて
もう部屋戻るから
！
？
はっ
…？
バサッ
見た…
いや…見てないよ。
嘘…なんかすごい顔してたもん
すまん、言われたことの驚きと合わさって…
う…ぐすっ
ふぇ…
ふえええええぇぇぇぇぇぇ
ふえぇぇぇえええぇぇ
もうやだぁ
お、おいアンナ…


ふぇぇえええ
ずぅど好きだったんだもん
でも無理なのわがっでぇ
でも気持ちどうしようもなぐで
せ、せめて初めでぐらい好きだ人どじだくでぇ。
それで忘れられだらっで思っで…
びぇぇぇぇえええ
やだぁあぁぁあああ

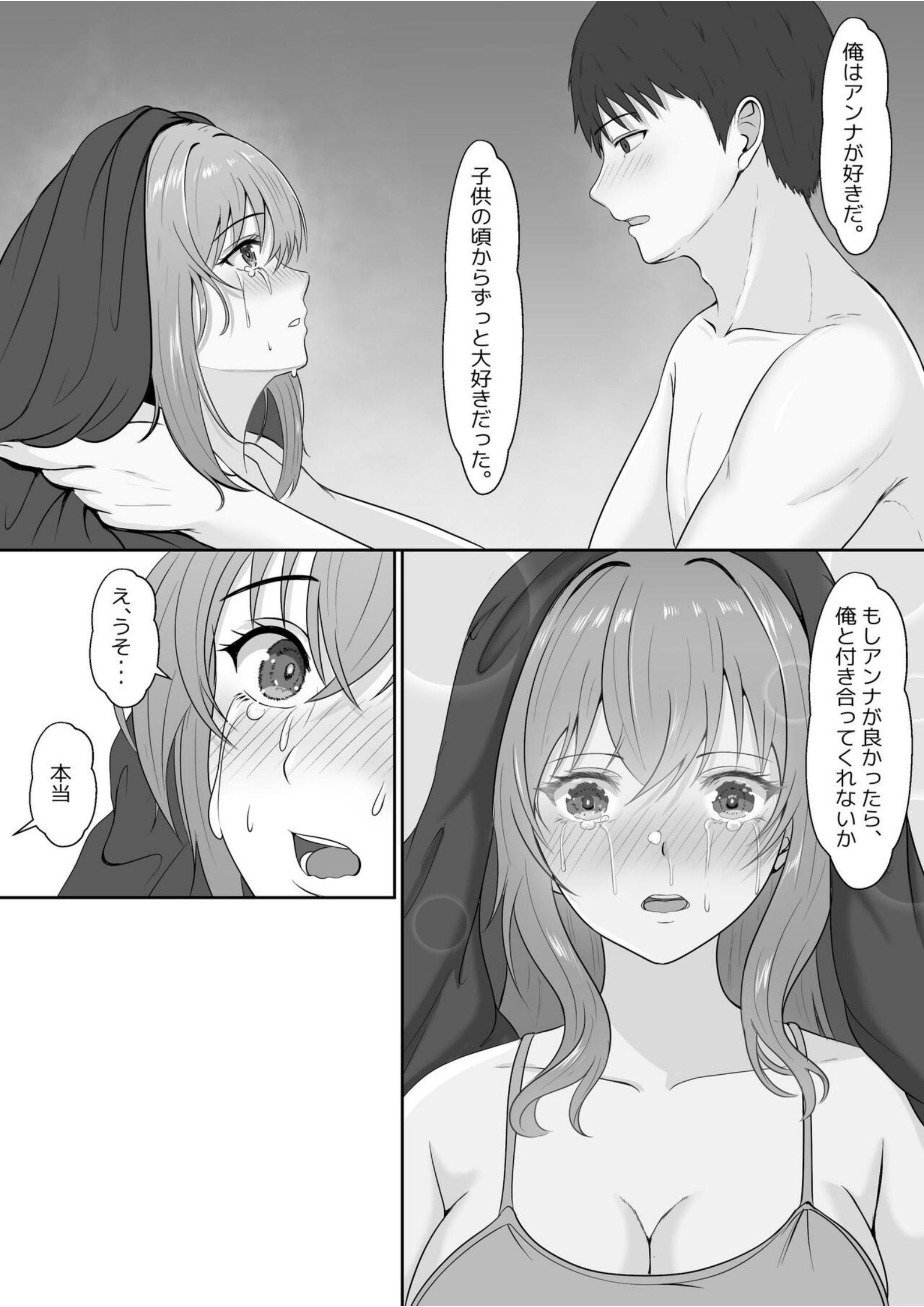

アンナ…

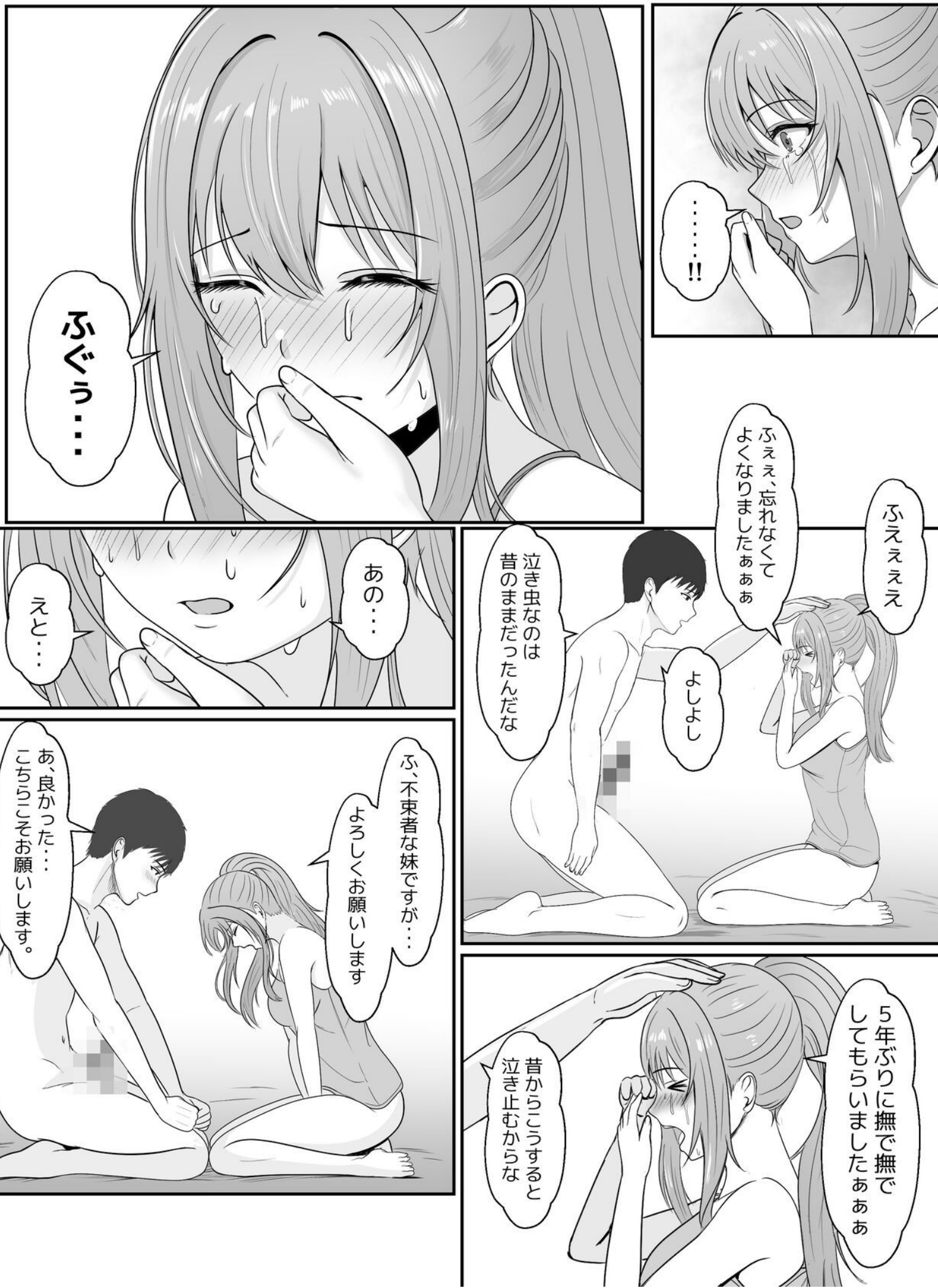

なぁ…
俺さっき調べてたんだけどな。
義理の兄妹って結婚できるらしいよ。
ぐすっ…
そうなの？
なんでそんなこと調べ…

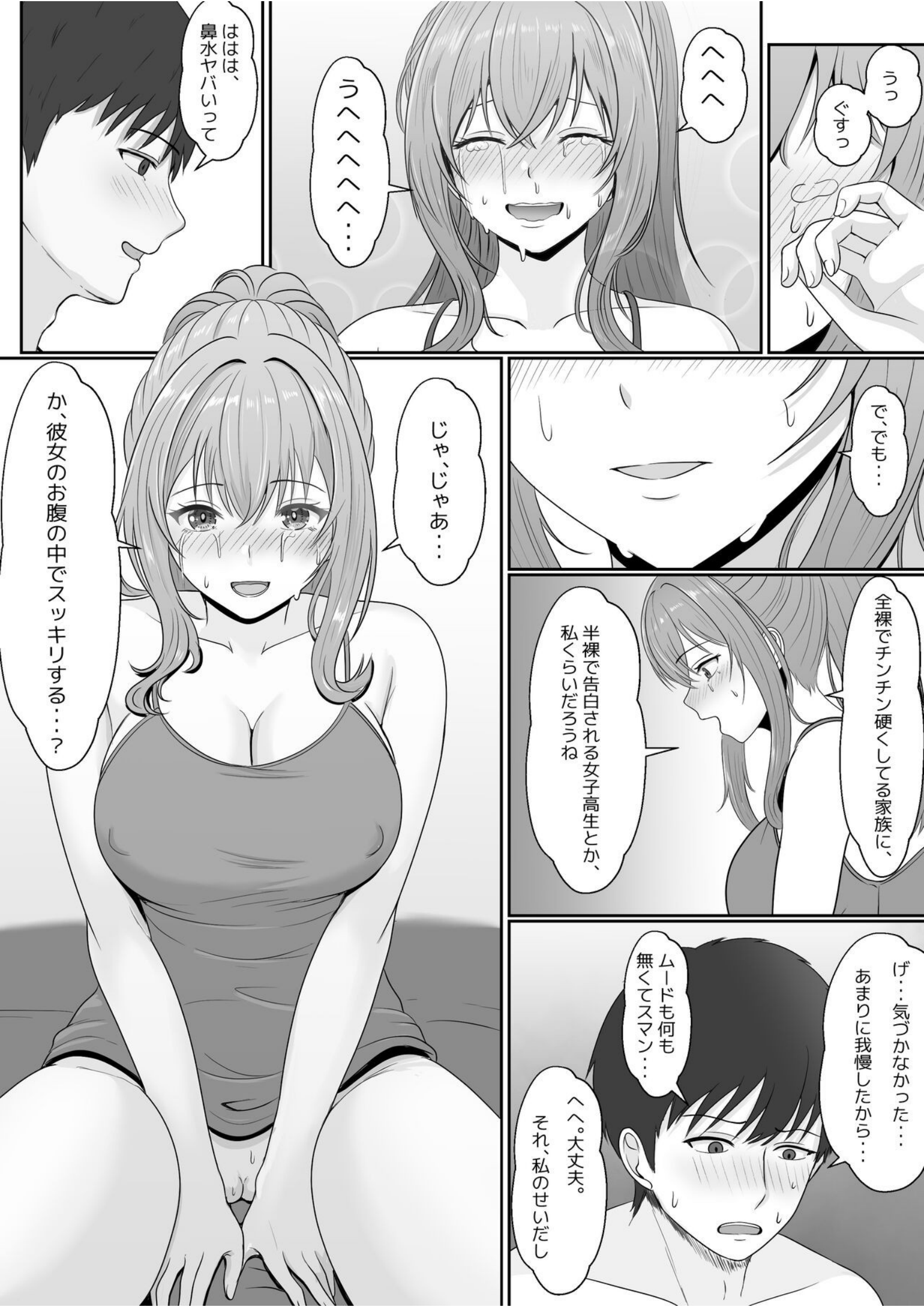

多分、中学入る前ころだよな。
アンナが俺に素っ気なくなり始めて。
それは…だって…
昔みたいに仲良くなりたくて
何回も声かけて、
アンナのことばっかり考えててさ。
ぐすっ
ぐしぐし


最近になって、好きな彼氏のために
アンナがエッチなこと
頑張ってると思ったら
すごく辛くてさ。
まあそれは俺の
勘違いだったんだけど。


でもそれで気づいたんだ
アンナが言ってくれた後に
言うのもヘタレだけど…


俺はアンナが好きだ。
子供の頃からずっと大好きだった。
もしアンナが良かったら、
俺と付き合ってくれないか
え、うそ・・・
本当


……!!
ふぐぅ…
ふぇぇぇえ
ふぇぇ、忘れなくて
よくなりましたぁぁぁ
よしよし
泣き虫なのは
昔のままだったんだな
あの…
えと…
ふ、不束者な妹ですが…
よろしくお願いします
あ、良かった…
こちらこそお願いします。
5年ぶりに撫で撫で
してもらいましたぁぁぁ
昔からこうすると
泣き止むからな


うっ
ぐすっ
へへへ
うへへへへ…
ははは、
鼻水ヤバいって
で、でも…
全裸でチンチン硬くしてる家族に、
半裸で告白される女子高生とか、
私くらいだろうね
じゃ、じゃあ…
か、彼女のお腹の中でスッキリする…？
げ…気づかなかった…
あまりに我慢したから…
ムードも何も
無くてスマン…
へへ。大丈夫。
それ、私のせいだし


アンナ！
お兄ちゃん
ぞく
れろ
じゅるッ
れろ
ちゅうう
はぁ
はぁ
上、脱がすぞ
…うん


ああ、ずっと触りたかったアンナの身体
ふーッ
ちゅ
くちゅくちゅ
ちゅ
ふーッ
やっわらけぇ・・・
むにゅ
むにゅ
すりすり
んッ
あっ
しゅっしゅっ
はッ
ぬちゅ

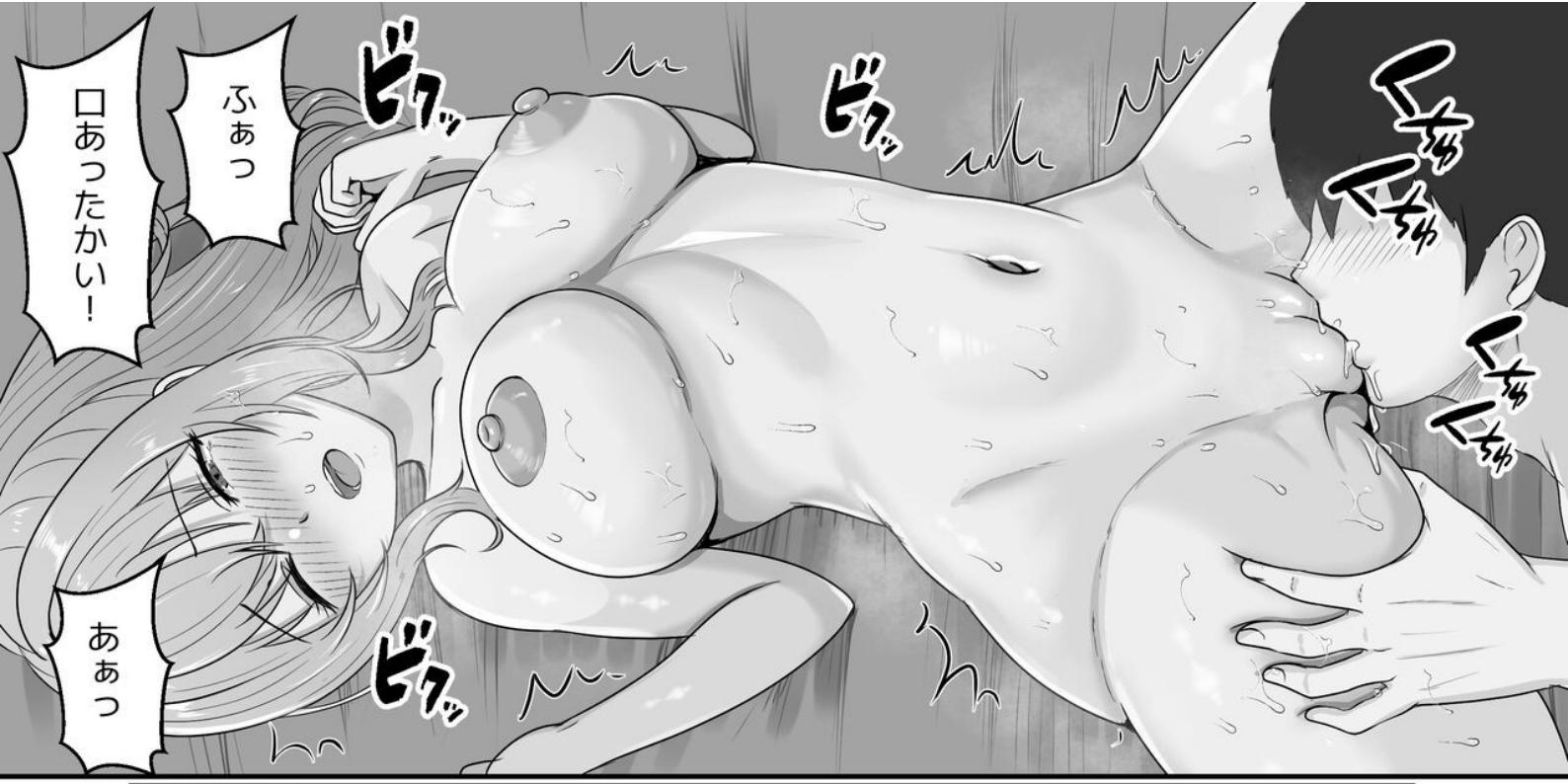

痛くないか…？
きもちい
すごい、きもちぃよ…
俺、触るの初めてだから
ニチャ
ガク
ガク
ニチャ…
ニチャ…
すごい…
はぁ
はぁ
手でされるのってこんな感じなんだ…
すご…
はッ
はッ
はッ
はッ
はッ
あっ!!
そこ好きっ!!
びくんっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
れろ
れろ
むにゃ
あっ
ビクンッ
ビクンッ
じゅるッ
じゅるッ
ぬちゅ
ぬちゅ
ぬちゅ


はぁ
はぁ
ふーッ
舐めるよ？
恥ずかしいから、目つぶってして…


良かった…ちゃんとイカせられた
こんなの…耐えられないよ
ふーッ
ふーッ
びくんっ
びくんっ
もっとアンナを気持ちよくさせたいよ

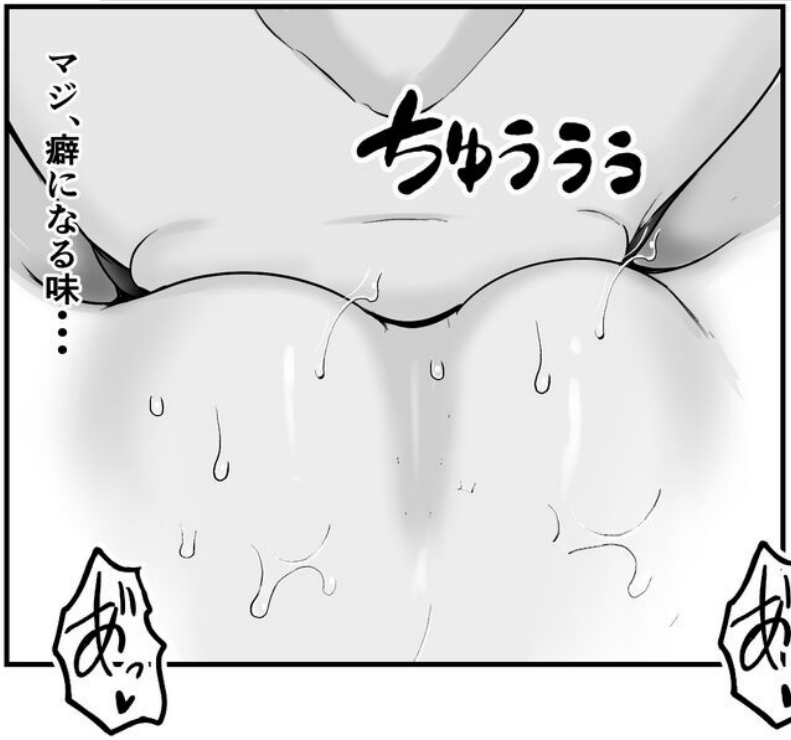

ダメだよ散々我慢したんだから。
ちゃんと見せて…
うわぁ、エロい匂い…
あ、ヤダ！


あっ
びくんっ♥
ぬるん
びくんっ♥


ふぁっ
口あったかい！
あぁっ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
くちゅくちゅ
くちゅくちゅ


すげ・・・ドンドン溢れてくる
じゅるッ
ぬちゅ
んっ♡


クリもこんなに固くなるんだ・・・
れろれろ・・・
ぴちゃ
ぴちゃ
あっ♡
そこッ♡

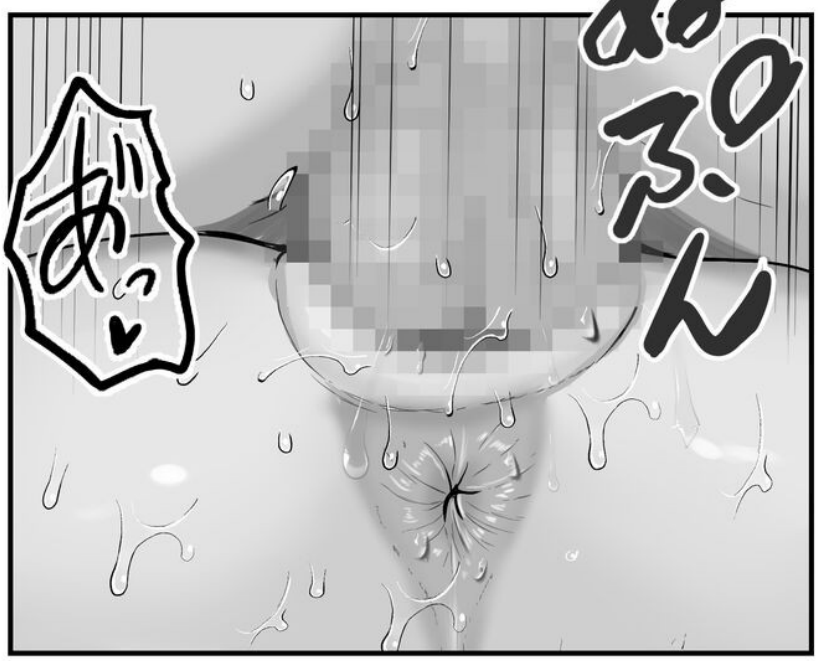

マジ、癖になる味・・・
ちゅうううう
あっ♡
あっ♡

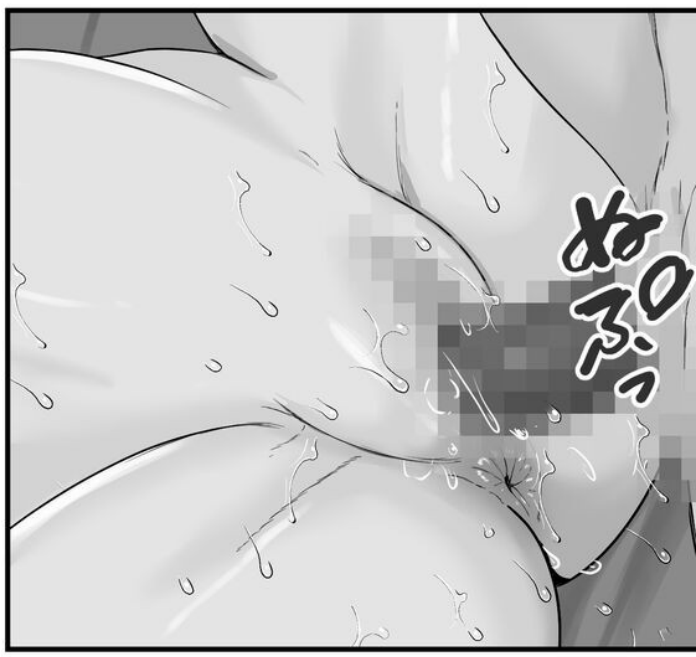

はッ
はッはッ
はッ
はッ


お兄ちゃんが…
そくそくっ♡
ぷーッ
ぷーッ
私のアソコ
舐めてる…っ♡


お兄ちゃんにイカせて
もらってる…っ♡
びくんっ♡
ぎゅっ
びくんっ♡


アンナ…
気持ちよく
なってくれた？
とろぉ…
ひく
ひく
はぁ
はぁ
はぁ
うん…
はずかしいけど
お兄ちゃんにイカせてもらえて
すごい幸せ…
ガク
ガク
ガク
じゃあ挿れるぞ
マジ限界だから
触っただけでイきそうだけど…
はー…
はー…
はー…
うん、すぐ出して良いよ。
アンナの中で沢山出して


ぬぷぷん
あっ


ぬぷっ


ビクッ ビクッ
く…
なんかさっきよりも
熱くて、吸い付いてくる…
はぁっ
はぁっ
うん
中ですごい
密着してる感じ…


アンナっ…


へへへ
はぁ
はぁ
はぁ
両想いでエッチする方が
全然気持ちいいんだね


アンナ！
びくんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
アンナっ！
あっ！
おにいぢゃっ！
びくんっ


もっと
はっ
はっ
はっ
もっと
乱れさせたいのに…
ぱるん
ぱるん
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ
ダメだっ、
もう出るよアンナ！


すげえ…
あの可愛いアンナが
こんなスケベな顔するのか…
はっ♡
はぁっ♡
は…♡
俺のチンコでこんな顔に…
ぐにっ
ぐにっ
ズッ
ズッ
ズッ
ズッ


お兄ちゃんキスしてっ♡
キスしながら出してっ♡
はぁ
はぁ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
くちゅ
ぬぷっ
くちゅ
ぬぷっ
くちゅ


ビュルル
ドクン
ぶちゅう
んッ♥
びくんっ♥
ドプッ
ドプッ
ドプッ
びくんっ♥
んッ♥
じゅるッ
じゅるッ
んッ♥
んうッ♥
んッ♥
くぅ…
めちゃくちゃ出た…
うん、お腹の中で
すごいビクビク
してた…♡
はー…
はー…
えっと…
ティッシュ…
あっ、待って。
拭かないで
ぴくっ
ぴくっ
ぴくっ
ズポッ


拭いたらもったいないよ…
うぁ…アンナ…
ズン
ガプっ


スリュ
スリュ
ぐちゅっ
全部舐め取るような舌の動き…
すっご…
モグ
モグ


はッ
ぴゃ
ぴゃ
はッ
にゃる
は！…
にゃる
は！…
ぬろろろ…
ぽは。
もう出なくなっちゃった…
すりすり♥
はぁ
そんな美味しそうに、舐められたら無理だって…
ふ——…
ふ——…
アンナ、もう一回挿れていいか？
えっ？
で、でも何回もしたら身体怠くなっちゃうんでしょ…？


ああ、いや…
怠いって言っても少しだけだよ。
軽くマラソンしたくらいなだけ
あ…
そうだったんだ…
じゃあいいよ？
お兄ちゃんが大丈夫なら、私は何回でも平気だよ？


ぐちゅ
パンッ
ぴちゃ
んっ♡
あっ♡
パンッ
ぐちゅ
パンッ
ぐちゅ
ぴちゃ
んっ
パンッ
んっ
パンッ
12
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
はっ
スッスッ
スッスッ
はっ
はぁっ♡
はぁっ♡
はぁっ♡
んっ♡
んっ♡
ぐにっ
むにゅ
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
ぬるっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ


ぬるるる～～
おぁ～～!!
アナルがヒクヒクしてきたぞ
イクのかアンナ


ぐい
俺のチンコで・・・
思いきりイカせたい！
ぐぐぐっ
うぁぁぁぁ♥
ぐりんっ
おにぃぢゃっ♥
イグッ♥イッちゃう♥
たぷん
パン
パン
パン
パン
パン
びちゃ
びちゃ


びくんっ♥
びくんっ♥
びくんっ♥
びくんっ♥
んんんっ!!
ずゅう
おっぱい♥
あ……
う……♥
ビクッ
ぐっ
ビク
ぶるっ
ぶるっ
ぶるっ
ガク
ガク
びくんっ♥
ガク

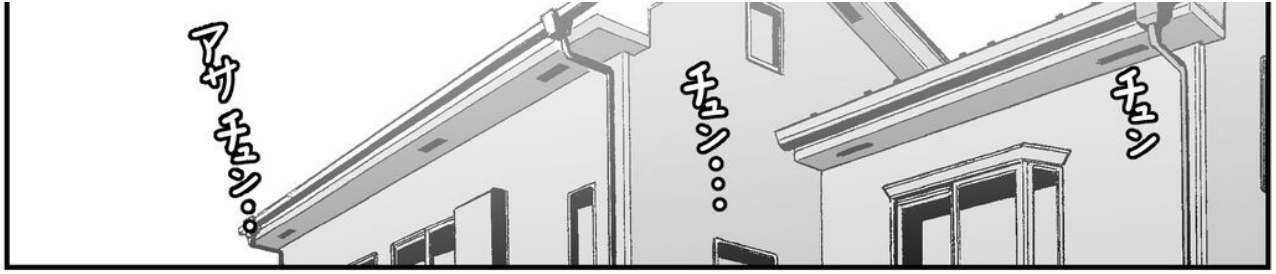

ビクッ
おっ♡
ビクッ
パン
パン
パン
パン
ひくひく…
ぐちゅっ
ぐちゅっ
ぐちゅっ


アンナ…イクぞ
はッ
はッ
はッ
はッ
ズッ
ズッ
ズッ
あたしもっ
お兄ちゃんと一緒にっ
あぁ
ドプッ
ドプッ
ドプッ

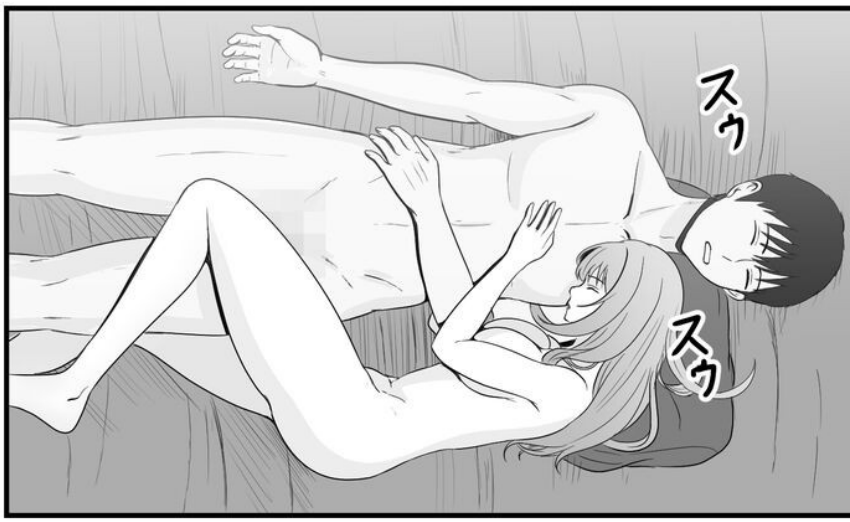

ぐぽっ


う…お
ギュみ♥
ぷるるる
上も下もめっちゃ吸われてる…
キュン
キュン


はー…
はー…
はー…
はー…
はー…
ぴく
ぴく
ぴく
ビクッ
ビクッ


チュン
チュン…
アサチュン。


ビクッ
んがっ！


スゥ
スゥ


あ…エッチした後、
そのまま一緒に
寝ちゃったんだ…

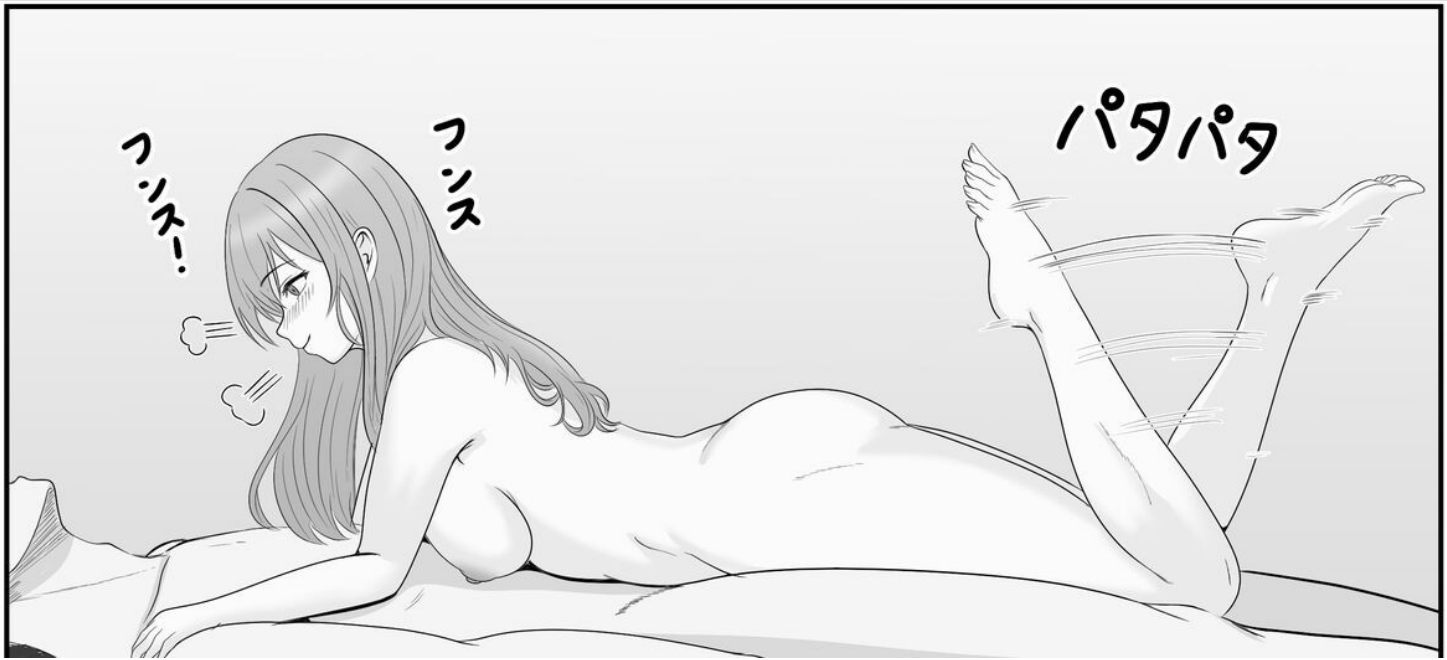

ん…
モゴ。
む…


ゴロ…


！


…。


子供の頃からずっと大好きだった。
もしアンナが良かったら、
俺と付き合ってくれないか
にへぇ…


パタパタ
フンス
フンス！

昨日の夜…
お兄ちゃんの
エッチすごかったな…



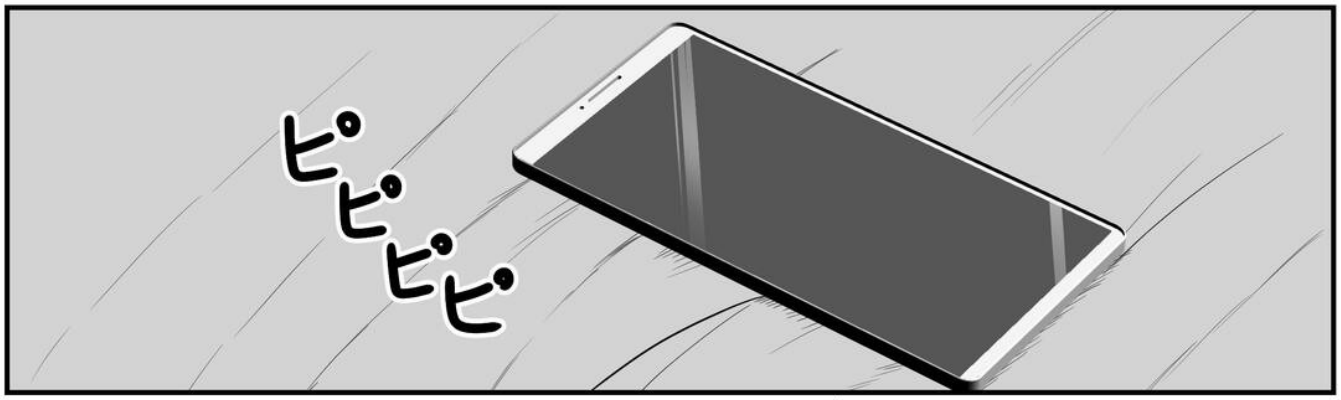






ドタドタ
ゴソゴソ
シュル…
ガチャ
バタン
トン
トントン

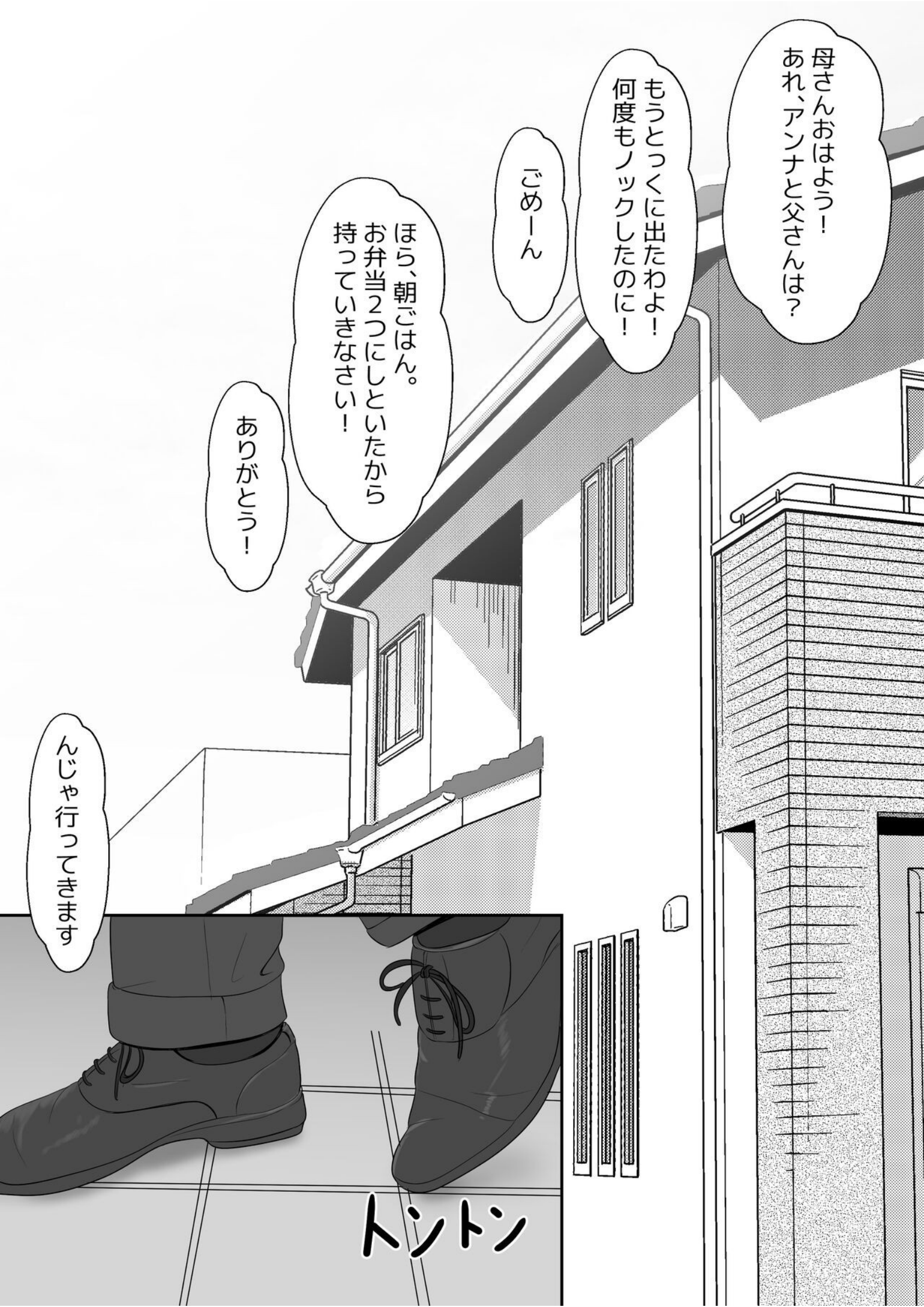


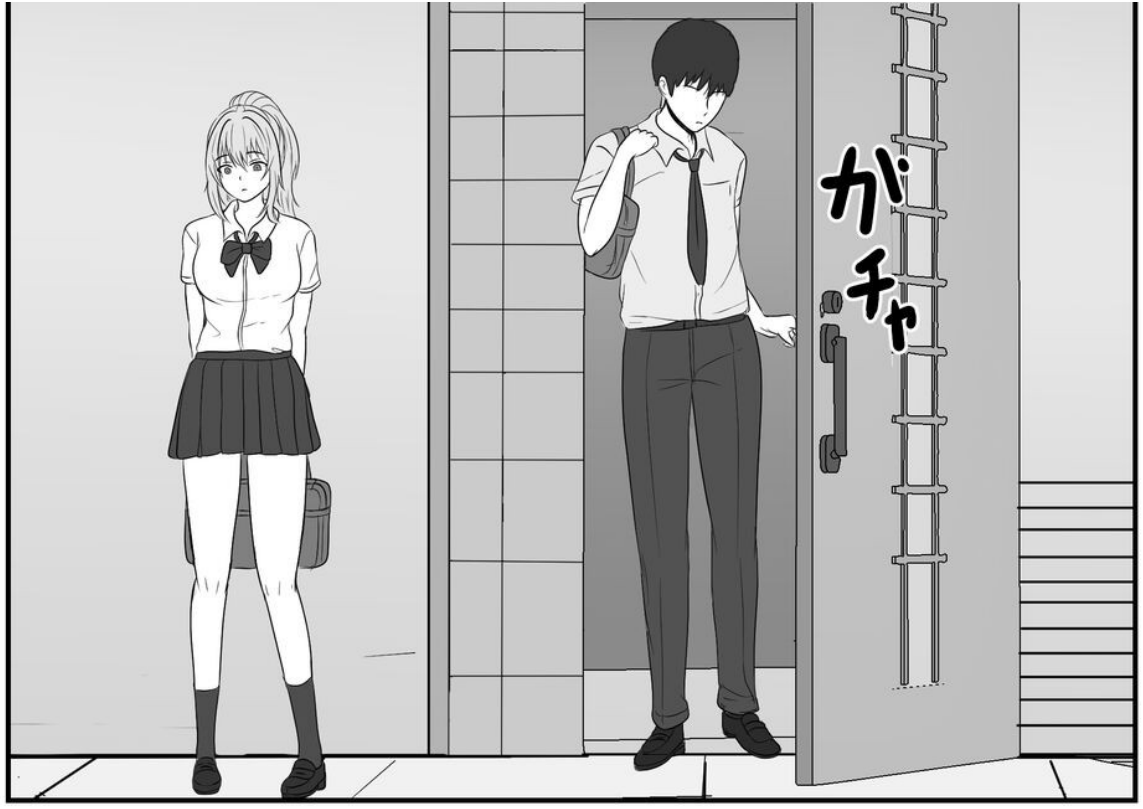

ピピピピ


んがっ！

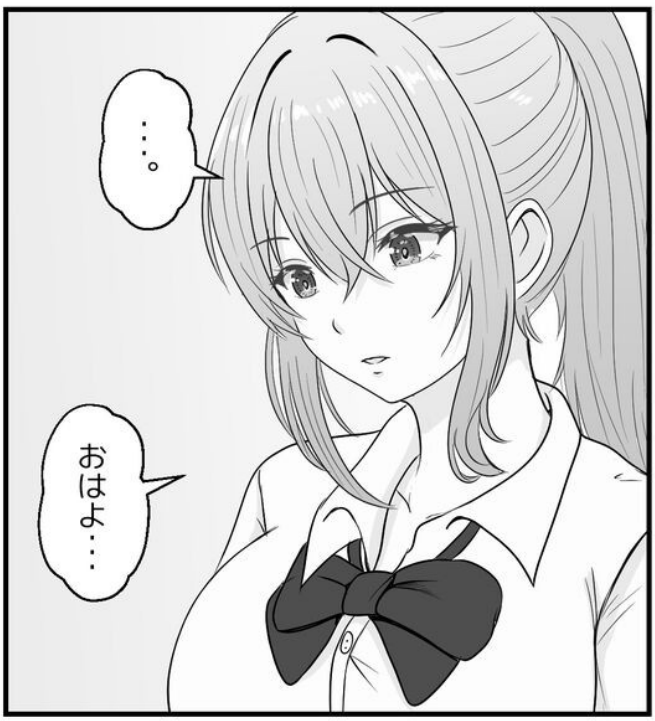

もう朝か
アンナは…
もう出て行っちゃったのか
おはようくらい言ってくれればいいのに…
相変わらず素っ気ないな…


ってやべっ
もうこんな時間かよ！


母さんおはよう！
あれ、アンナと父さんは？
もうとっくに出たわよ！
何度もノックしたのに！
ごめーん
ほら、朝ごはん。
お弁当2つにしといたから
持っていきなさい！
ありがとう！
んじゃ行ってきます
トントン


ガチャ


こんなとこで何し…


…。
おはよ…


うおっ！
びっくりした
アンナ…
おはよう…


コク


あ…えっと。
が、学校、
一緒に行こうか


…もしかして俺のこと
待っててくれたのかな…？


…
……
…
ぎゅっ♥
ビクッ
スリ…

あとがき

ご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

早いもので前作発売から9ヶ月も経ってしまっていました。

実は今作はお蔵入りにする予定でしたが、
既に前作制作時点でネームが出来ていたことや、
前作ご購入いただいた方からの温かいレビューに励まされて、
制作することにいたしました。

一旦、内容的には完結させられたかと思うのですが、
描いている内に、この兄妹二人の今後も応援したい気持ちが出てきたので(笑)、
もしかしたら続くかもです。
(JKなのに制服エッチシーン描けなかったのも心残りですし・・・。
もう部屋着も制服にしちゃいたい)

お願い

もし少しでも面白かったと思っていただけたら、★を付けるだけで
全然結構ですので、是非是非、レビュー投稿をお願いいたします！

それではまた。

著者　サンバルキン
発行　サンバルキン
Twitter @sanbalkin1